



[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#) > [プレスリリース（2018年）](#)

プレスリリース（2018年）

プレスリリースに掲載されている製品の価格、仕様、サービス内容などは発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。

2018年

2018年12月4日

サービス

大分フットボールクラブ様、サッカースクール生の育成強化に向け「スマホdeコーチ」のトライアル開始

2018年11月29日

導入事例

IoTソリューションの共創をめざして、「GLOVIA smartホテルSaaS」を導入

2018年11月15日

イベント・セミナー

日本動物実験代替法学会へ化学物質毒性予測システムを出展

2018年11月13日

イベント・セミナー

「CAEパッケージソフトJupiter-Designer紹介セミナー2018」の開催

2018年11月8日

イベント・セミナー

薬物動態談話会へ薬物相互作用予測ソフトを出展

2018年10月31日

サービス

クレジット決済サービスのセキュリティ機能を強化し、政府の「実行計画」に対応

2018年10月31日

ソリューション

食品製造業向け原価管理ソリューションを機能強化

2018年10月26日

経営・人事

(株)富士通九州システムズ 役員人事について

2018年10月9日

ソリューション

DDI Simulator ver.2.5を発売開始

2018年9月27日

ソリューション

声優志望者向けソリューションの実証実験を開始

2018年9月21日

イベント・セミナー

日本薬物動態学会へ薬物相互作用予測ソフトを出展

2018年9月21日

イベント・セミナー

CBI学会へ毒性予測ソフトを出展

2018年9月20日

イベント・セミナー

「サイバーセキュリティセミナー2018」の開催

2018年9月5日

イベント・セミナー

第79回応用物理学会秋季学術講演会へ分子シミュレーションソフトを出展

2018年8月31日

イベント・セミナー

「FUJITSUソリューション祭り2018 in 九州」へQsConnectシリーズを出展

2018年8月29日

ソリューション

AI技術を応用した自動検知型BIパッケージを販売開始

2018年8月28日

イベント・セミナー

2018年日本液晶学会討論会へ液晶化合物データベースシステムを出展

2018年8月21日

イベント・セミナー

「IoT/ICTを活用したモノづくり革新」セミナーの開催

2018年7月31日

サービス

クラウド対応型文書管理システム「GLOVIA smart ECM SaaS」を販売開始

2018年7月19日

サービス

富士通九州システムズと富士通ラーニングメディア、最新技術やヒューマン/ビジネススキルを学べるラーニングセンターを新たに九州地区に開設

2018年7月19日

イベント・セミナー

生産性向上スクールで「3Dで創るスマートものづくり」を講演

2018年7月18日

サービス

食・農クラウド「Akisai」シリーズの牛の分娩室モニタリングシステム「牛見時」を販売開始

2018年7月6日

イベント・セミナー

日本毒性学会へ毒性・薬物動態予測ソフトを出展

2018年6月28日

経営・人事

(株)富士通九州システムズ 役員人事について

2018年6月20日

イベント・セミナー

第18回国際薬理学・臨床薬理学会議(WCP2018)へ薬物相互作用予測ソフトを出展

2018年5月25日

ソリューション

通販に必要な機能をオールインワン！新通販ソリューションを発売開始

2018年5月23日

サービス

トイレの混雑緩和・看守りサービス「Internet of toilet」に新機能

年 月 日

イベント・セミナー

日本TDM学会へ薬物相互作用予測ソフトを出展

2018年5月14日

イベント・セミナー

JECA FAIR 2018 ～第66回電設工業展～にスマート安全帯ソリューションを出展

2018年4月26日

イベント・セミナー

化学物質管理ミーティング2018にクラウド型の安全性データシート作成支援サービス「ezSDS」を出展

2018年4月25日

サービス

ソフトウェア構成管理サービス「Q's-Rook」を提供開始

2018年4月24日

サービス

スマート安全帯ソリューションを発売開始

2018年4月11日

サービス

自治体の危機管理者向け指定外避難所支援SaaSの提供開始

2018年4月5日

導入事例

三建産業様に熱流体解析および構造解析ソフトウェアを提供

2018年4月2日

経営・人事

2018年3月29日

経営・人事

ホテル業界向け新AIサービスをいちご株式会社と共創

2018年3月29日

導入事例

JA三重中央会様にJA総合情報システムの基幹系ソリューション「FREiS NEXT」を提供

2018年3月29日

導入事例

JA事業継続対策やIT統制を強化した次世代型システムを構築

2018年3月27日

ソリューション

ADME Database バージョン50を発売開始

2018年3月14日

導入事例

IT経験ゼロでも配属先で活躍できる新人教育

2018年3月12日

ソリューション

オムニチャネルの顧客管理をサポートする「QsConnect顧客管理」を発売

2018年3月8日

ソリューション

セキュリティの抜け道となる「共連れ」を防ぐシステムを新発売

2018年3月1日

「健康経営優良法人（ホワイト500）」に認定

2018年2月26日

ソリューション

J A様独自の会計業務に対応した「財務会計システム」を発売開始

2018年2月14日

イベント・セミナー

近畿国立病院薬剤師会へ薬物相互作用予測ソフトを出展

2018年2月6日

導入事例

宮古島市島嶼型スマートコミュニティ実証事業においてヒートポンプ給湯機制御システムを開発

2018年2月6日

サービス

宿泊施設管理システム「GLOVIA smartホテル V4」に機能追加

2018年1月31日

ソリューション

デジタルビジネスを加速するフレームワークを販売開始

2018年1月25日

経営・人事

子会社の吸収合併について

2018年1月19日

導入事例

富士通グループヘルスケア分野で初めてPepperと電子カルテの連動に成功！

2018年1月16日

導入事例

大谷機械製作所様に鍛造業界に先がけた解析モデルを支援

2018年1月9日

サービス

安全性データシート作成支援サービス「ezSDS」に新機能

プレスリリース（年別）

- ＞ プレスリリース（2021年）
- ＞ プレスリリース（2020年）
- ＞ プレスリリース（2019年）
- ＞ プレスリリース（2018年）
- ＞ プレスリリース（2017年）
- ＞ プレスリリース（2016年）
- ＞ プレスリリース（2015年）
- ＞ プレスリリース（2014年）
- ＞ プレスリリース（2013年）
- ＞ プレスリリース（2012年）
- ＞ プレスリリース（2011年）
- ＞ プレスリリース（2010年）
- ＞ プレスリリース（2009年）

プレスリリース（カテゴリ別）

- [プレスリリース（経営・人事）](#)
- [プレスリリース（ソリューション・サービス）](#)
- [プレスリリース（導入事例）](#)
- [プレスリリース（イベント・セミナー）](#)

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU



ホーム > お知らせ > プレスリリース > 2018年 >

大分フットボールクラブ様、サッカースクール生の育成強化に向け「スマホdeコーチ」のトライアル開始

PRESS RELEASE

2018年12月4日

株式会社富士通九州システムズ

大分フットボールクラブ様、サッカースクール生の育成強化に向け「スマホdeコーチ」のトライアル開始

株式会社大分フットボールクラブ（本社：大分県大分市、代表取締役社長：榎徹、以下 大分フットボールクラブ）様は、同社が運営するサッカースクールで、当社のスポーツスクール事業者向けコミュニケーションツール「スマホdeコーチ」のトライアルを2018年12月から開始いたしました。

「スマホdeコーチ」は、スマートフォンを活用してコーチ、スクール生・保護者のコミュニケーション向上を支援するツールです。スクールでは、本ツールの利用により、スクール生の満足度向上、技術力向上およびスクール運営の効率化を期待されています。トライアルは、2019年4月本格運用に向けての導入効果検証を目的としています。

背景

大分フットボールクラブ様は、「『育てる』をコンセプトに、育成型クラブの代表的な存在になる」

をチームビジョンとし、スクール運営にも注力されています。そこでスクール生の技術力向上、満足度向上およびスクール生の拡大を目指し、「スマホdeコーチ」のトライアルを開始することになりました。また、「スマホdeコーチ」は、当社の大分事業所で開発し全国へ展開中のサービスです。当社は、大分フットボールクラブ様の地元からスクール運営の課題解決を支援いたします。

スマホdeコーチについて

「スマホdeコーチ」は、スクール、コーチとスクール生間のコミュニケーション向上とスクール生の育成強化を狙いとしたサービスであり、スポーツスクール事業における以下の課題解決を支援します。

- スクール生の満足度向上（現場での指導+ICT活用による付加価値）
- スクール運営の効率化（スクール生管理、コーチ管理）
- コーチ、スクール生の技術力向上

詳しく見る >

お客様の会社概要

社名	株式会社大分フットボールクラブ
代表取締役社長	榎 徹
設立	1999年1月7日
所在地	〒870-0126 大分県大分市大字横尾1629番地
資本金	80,519千円


商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ

お電話によるお問い合わせ

セキュリティ&ソーシングソリューション本部
ソーシングソリューション部

 097-534-9413

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

メールでのお問い合わせ

スマホdeコーチに関するお問い合わせ

 [入力フォーム](#)

当社はセキュリティ保護の観点からSSL技術を使用しております

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU



ホーム > お知らせ > プレスリリース > 2018年 >

IoTソリューションの共創をめざして、「GLOVIA smartホテルSaaS」を導入

PRESS RELEASE

2018年11月29日

株式会社富士通九州システムズ

IoTソリューションの共創をめざして、「GLOVIA smartホテルSaaS」を導入 ～インバウンド客へのスムーズな対応とホテルフロント業務の省力化を図る～

一期一会を商号の由来とするいちご株式会社様（本社：東京都千代田区、代表執行役社長 長谷川拓磨氏、以下 いちご様）は、既存不動産に新しい価値を創造する「心築（しんちく）」を軸に、J-REIT運用などの不動産関連事業をグループで展開しています。

同社が心築した「THE KNOT TOKYO Shinjuku」が2018年8月8日にリニューアルオープン。新ホテルでは従来と客層が逆転して8割をインバウンド客が占めるようになり、外国語ができるスタッフの不足からスムーズな顧客対応ができないといった課題がありました。そこでフロント業務を効率化するため、当社の「GLOVIA smartホテルシステム」と自動チェックイン機やスマカギを連携し、チェックイン業務や客室業務の効率化により、ホテルスタッフのみならず利用者の利便性向上をめざしています。

背景と導入効果

当社は、2018年3月にいちご様とホテル事業でビッグデータ、AI技術、IoTを活用した新たなビジネス創出に向けたソリューションでの共創を発表。いちご様のレベニューマネジメントシステムとGLOVIA smartホテルシステムとを連携させたソリューションの開発で合意しました。

その合意に基づき、2018年8月にリニューアルオープンした「THE KNOT TOKYO Shinjuku」において、当社はIoTによる管理コスト削減をめざし、クラウドサービスであるGLOVIA smartホテルSaaSをベースに、従来から導入されていた自動チェックイン機との連携、および新規採用したスマカギ連携を実施しました。

自動チェックイン機は、チェックイン／アウトをお客様自身が操作して、フロント精算業務（予約検索～チェックイン／アウト）を完了することで、スタッフの業務負担の軽減や省人化に貢献します。また、もう一つの連携システムであるスマカギは、IoTプラットフォームを活用したデジタルドアロックの遠隔管理サービスで、部屋のドアに設置されたデジタルドアロックにICカードキーをかざすか、暗証番号（PINコード）の入力で鍵の開錠をします。デザイン性の高さから外国人のお客様の評判が良く、新たな価値を提供しています。

今後の展開

新システムは、いずれもクラウドサービスならではの運用の容易さ、アップデートの速さ、設置スペースが不要というメリットのほか、富士通の非常に堅牢なデータセンターで稼働していることから、有効なBCP対策にもなっています。


今後は、自動チェックイン機の利用率を高めて省力化を図るとともに、個々のお客様の要望へのより細かな対応の実現すること、さらに、スマカギから日々、IoTプラットフォームに蓄積される入退室や部屋の滞在時間などのデータの活用をめざしています。

本サービスの特長

ホテルや旅館の宿泊部門に必要な宿泊予約、フロントレセプション、フロント会計の機能から、顧客管理機能、売掛管理機能までを備えたホテルシステム（PMS）・旅館システムです。お客様のニーズにあわせてパッケージ型、月額課金のクラウド型システムの選択ができます。

[詳しく見る >](#)

関連リンク

- [いちご株式会社様サイト](#) 
- [いちご株式会社様導入事例](#)


商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ

お電話によるお問い合わせ

産業流通ソリューション本部 ホテルソリューション部

 03-6424-9767

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU



ホーム > お知らせ > プレスリリース > 2018年 > 日本動物実験代替法学会へ化学物質毒性予測システムを出展

PRESS RELEASE

2018年11月15日

株式会社富士通九州システムズ

日本動物実験代替法学会へ化学物質毒性予測システムを出展

当社は、11月23日（金曜日）から11月25日（日曜日）にかけて開催される日本動物実験代替法学会第31回大会に化学物質毒性予測システムの出展をします。


本会では、「動物実験代替法学の体系化と人材育成」をテーマに、講演、シンポジウム、ワークショップ、ポスター発表などが開催されます。

当社ブースでは、QSAR^(注1)による化学物質の毒性予測、皮膚感作性予測をおこなう「ADMEWORKSシリーズ」のほか、薬の薬物併用時の薬物相互作用を予測する「DDI Simulator」、薬物動態関連たんぱく質・薬物の相互作用情報を文献から収載した「ADME Database」を出展します。プレスリリースを見て事前にご連絡いただいた方には、個別相談会も実施しております。是非、当社ブースまでご来臨賜りますよう、お願い申し上げます。

日本動物実験代替法学会 第31回大会

- 期間：2018年11月23日（金曜日）～11月25日（日曜日）
- [日本動物実験代替法学会 第31回大会](#)

会場

- 崇城大学 SoLA 小間No.25
〒860-0082 熊本県熊本市西区池田4-22-1
- [メインキャンパスマップ | 崇城大学](#) 

当社出展期間

- 11月23日（金曜日）13時～18時
- 11月24日（土曜日）9時～18時30分
- 11月25日（日曜日）8時30分～12時30分

当社出展ソリューション

1. 化学物質毒性予測システム「ADMEWORKSシリーズ」

「ADMEWORKSシリーズ」は、化学物質や薬物などの安全性と体内における変化を、コンピュータ上で評価するためのシステムです。製薬企業における新薬開発にだけ用いられるのではなく、動物実験代替法への関心が高まっていることもあり、化学メーカーや化粧品メーカーでもご利用いただいております。

2. PhysChem/ADME/Tox予測・評価ソフト「ACD/Percepta」

「ACD/Percepta」は、各種物性、薬物のADME(吸収、分布、代謝、排泄)、および毒性をコンピュータ上で評価するソフトウェアです。吸収に関する物性、分布容積、たんぱく結合、代謝部位、血中濃度推移等のADME特性、急性毒性、遺伝毒性、皮膚刺激などを、化合物の構造から得られる情報をもとに予測します。

3. 薬物体内動態シミュレーションソフト「DDI Simulator」

「DDI Simulator」は、薬物の併用投与時に薬効・副作用発現の変動を引き起こしうる薬物相互作用の程度を、体内動態パラメーターの情報に基づき、基質薬物の挙動について生理学的モデルを用いたシミュレーションで予測するソフトウェアです。

4. 薬物代謝酵素P450/トランスポータに関するデータベース「ADME Database」

「ADME Database」は、クロアチアのレンディック博士^(注2)が、文献から収集したヒトの薬物動態関連たんぱく質・薬物の情報^(注3)データベースです。薬物の吸収、分布、代謝、排泄に関わるチトクロームP450^(注4)、その他の薬物代謝酵素と薬物トランスポータ^(注5)情報を収載しています。

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

用語説明

注1 QSAR:

化学物質の構造式と活性になりつつ量的関係のことで、Quantitative Structure-Activity Relationship の略です。

注2 レンディック博士:

レンディック博士は、薬物動態分野の著名な研究者です。

注3 薬物動態関連たんぱく質・薬物の情報:

投与された薬物が作用発現部位に到達する過程における、吸収、分布、代謝、排泄などに関連するたんぱく質情報です。

注4 チトクロームP450:

薬物を体外に排泄されやすい形に代謝する酵素です。

注5 トランスポータ:

トランスポータ薬物を輸送するたんぱく質です。

関連リンク

➤ 化学物質毒性予測システム「ADMEWORKSシリーズ」

PhysChem/ADME/Tox予測・評価ソフト「ACD/Percepta」

➤ 薬物体内動態シミュレーションソフト「DDI Simulator」

➤ 薬物代謝酵素P450/トランスポータに関するデータベース「ADME Database」

本件に関するお問い合わせ

お問い合わせ

富士通株式会社 ソーシャルデザイン事業本部 デジタルラボ事業部

 **お電話・メールでのお問合せ（富士通サイトへ）**

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

コンテンツ利用条件

個人情報保護ポリシーについて

商標について

お問い合わせ

富士通ホームへ

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU



[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#) > 2018年 > 「CAEパッケージソフトJupiter-Designer紹介セミナー2018」の開催

PRESS RELEASE

2018年11月13日

株式会社富士通九州システムズ

「CAEパッケージソフトJupiter-Designer紹介セミナー2018」の開催 ～大幅に進化したJupiter-Designerをぜひご覧ください！！～

当社は、「TSV-Desinger for iCAD」の後継ソフトウェアとして、設計者向け構造・熱解析ソフトウェア「Jupiter-Designer for iCAD」を、2014年から販売しています。


このたび、多くのお客様からのご要望をいただき、当ソフトウェアの活用事例と新機能を紹介するセミナーを開催いたします。設計者の方々や解析業務への展開をお考えのお客様、既にご利用中のお客様にも、是非この機会にご参加いただき、今後のご参考にさせていただければと存じます。

CAEパッケージソフト「Jupiter-Designer」紹介セミナー2018

日時：

2018年11月28日（水曜日）13時30分～17時（受付13時～）

会場：

AP東京丸の内 H+Iルーム 

住所：

東京都千代田区丸の内1丁目1-3 日本生命 丸の内ガーデンタワー3階

電話：

03-5224-5109

定員：

40名（参加費無料、事前登録制）

お申し込み

本セミナーは、予約制になっております。参加を希望される場合は、お手数ですが、以下サイトよりお申し込みください。

URL:http://www.e-technostar.com/support/seminar_jpt_designer_2018/form_regist/（Jupiter-Designer紹介セミナー2018 参加お申し込みフォーム 株式会社テクノスターサイト）

セミナー内容

時間		内容
13時30分 ～13時35 分	5分	開会のご挨拶
13時35分 ～14時20 分	45分	Jupiter-Designer V3.1.2 新機能紹介と開発ロードマップ 株式会社テクノスター 取締役 四條 清文

14時20分 ～15時5分	45分	Jupiter-Designer ユーザ活用事例紹介 株式会社富士通九州システムズ エンジニアリングソリューション本部 HPCソリューション部 坂本 哲朗
15時5分 ～15時25 分	20分	～休憩～
15時25分 ～16時10 分	45分	設計者CAEの普及活動事例紹介 株式会社テクノスター 技術顧問 吉村 昇一（元 ヤマハ発動機）
16時10分 ～16時55 分	45分	Jupiter-Designer新機能・便利機能デモンストレーション 株式会社富士通九州システムズ エンジニアリングソリューション本部 HPCソリューション部 坂本 哲朗
16時55分 ～17時	5分	閉会のご挨拶

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。


関連リンク

- 構造・熱解析ソフトウェア Jupiter-Designer for iCAD

本件に関するお問い合わせ

お電話によるお問い合わせ

エンジニアリングソリューション本部 HPCソリューション部 大門（おおかど）

 092-260-6224

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

メールでのお問い合わせ

PLMソリューションに関するお問い合わせ

 [入力フォーム](#)

当社はセキュリティ保護の観点からSSL技術を使用しております

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)



[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#) > 2018年 > [薬物動態談話会へ薬物相互作用予測ソフトを出展](#)

PRESS RELEASE

2018年11月8日

株式会社富士通九州システムズ


薬物動態談話会へ薬物相互作用予測ソフトを出展

当社は、11月15日（木曜日）から11月16日（金曜日）にかけて開催される薬物動態談話会第41年会に薬物相互作用予測ソフトの出展をします。


本会は産官学で研鑽を積み体内動態に優れた医薬品を患者様に届けることを目指し、最新の研究テーマに基づいた講演やシンポジウムなどが開催されます。

当社ブースでは、薬物併用時の薬物相互作用を予測する「DDI Simulator」や薬物動態関連たんぱく質・薬物の相互作用情報を文献から収載した「ADME Database」のほか、薬の毒性・薬物動態予測をおこなう「ADMEWORKSシリーズ」を出展します。プレスリリースを見て事前にご連絡いただいた方には、個別相談会も実施しております。是非、当社ブースまでご来臨賜りますよう、お願い申し上げます。

薬物動態談話会 第41年会

- 期間：2018年11月15日（木曜日）～11月16日（金曜日）
- URL：[薬物動態談話会 – Japanese Drug Metabolism Discussion Group](#) 

会場

- オークラアクトシティホテル浜松 4階平安の間
〒430-7733 静岡県浜松市板屋町111-2
- URL：[アクセス | オークラアクトシティホテル浜松](#) 

当社出展期間

- 11月15日（木曜日）15時～19時15分
- 11月16日（金曜日）8時30分～17時

当社出展ソリューション

1. 薬物体内動態シミュレーションソフト「**DDI Simulator**」
「DDI Simulator」は、薬物の併用投与時に薬効・副作用発現の変動を引き起こしうる薬物相互作用の程度を、体内動態パラメーターの情報に基づき、基質薬物の挙動について生理学的モデルを用いたシミュレーションで予測するソフトウェアです。
2. 薬物代謝酵素P450/トランスポーターに関するデータベース「**ADME Database**」
「ADME Database」は、クロアチアのレンディック博士^(注1)が、文献から収集したヒトの薬物動態関連たんぱく質・薬物の情報^(注2)データベースです。薬物の吸収、分布、代謝、排泄に関わるチトクロームP450^(注3)、その他の薬物代謝酵素と薬物トランスポーター^(注4)情報を収載しています。
3. 毒性/薬物動態インシリコ予測システム「**ADMEWORKSシリーズ**」
「ADMEWORKSシリーズ」は、化学物質や薬物などの安全性と体内における変化を、コンピュータ上で評価するためのシステムです。製薬企業における新薬開発にだけ用いられるのではなく、動物実験代替法への関心が高まっていることもあり、化学メーカーや化粧品メーカーでもご利用いただいております。
4. **PhysChem/ADME/Tox**予測・評価ソフト「**ACD/Percepta**」
「ACD/Percepta」は、各種物性、薬物のADME(吸収、分布、代謝、排泄)、および毒性をコンピュータ上で評価するソフトウェアです。吸収に関する物性、分布容積、たんぱく結合、代謝部位、血中濃度推移等のADME特性、急性毒性、遺伝毒性などを、化合物の構造から得られる情報をもとに予測します。

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

用語説明

- 注1 レンディック博士:
レンディック博士は、薬物動態分野の著名な研究者です。
- 注2 薬物動態関連たんぱく質・薬物の情報:
投与された薬物が作用発現部位に到達する過程における、吸収、分布、代謝、排泄などに関連するたんぱく質情報です。
- 注3 チトクロームP450:
薬物を体外に排泄されやすい形に代謝する酵素です。
- 注4 トランスポータ:
トランスポータ薬物を輸送するたんぱく質です。

関連リンク

- 薬物体内動態シミュレーションソフト「DDI Simulator」
- 薬物代謝酵素P450/トランスポータに関するデータベース「ADME Database」
- 毒性/薬物動態インシリコ予測システム「ADMEWORKSシリーズ」

PhysChem/ADME/Tox予測・評価ソフト「ACD/Percepta」

本件に関するお問い合わせ

お問い合わせ



お電話・メールでのお問合せ（富士通サイトへ）

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)



ホーム > お知らせ > プレスリリース > 2018年 >

クレジット決済サービスのセキュリティ機能を強化し、政府の「実行計画」に対応

PRESS RELEASE

2018年10月31日

株式会社富士通九州システムズ

クレジット決済サービスのセキュリティ機能を強化し、政府の「実行計画」に対応

当社は、従来から提供している小売業界向けクレジット決済サービス「Card-SaaS/CHANNEL Value クレジット決済中継」（以下、本サービス）を機能強化し、2018年9月から提供を開始いたしました。

近年、政府のセキュリティ対策方針が発表され、対面加盟店^(注1)にもセキュリティ対応が求められています。当社は、2020年に向けたクレジットカード取引における政府のセキュリティ対策方針「実行計画」^(注2)を受け、IC決済中継サービスの拡充、加盟店様のカード情報非保持化の実現に向けたサービスを追加提供いたします。本サービスでは、ご利用加盟店様のセキュリティ対応の負荷を軽減し、高度なセキュリティ運用による安心安全なサービスを提供いたします。

背景

近年、決済業界では2020年に向けたクレジットカード取引における政府のセキュリティ対策方針「実行計画」^(注2)が発表され、対面加盟店^(注1)は2020年3月までにカード情報の非保持化（またはPCI-

DSSへの準拠)が求められています。また、「実行計画」(注2)では、クレジットカードの不正利用対策として2020年3月までにクレジットカードおよび加盟店のIC対応100%実現を掲げられています。

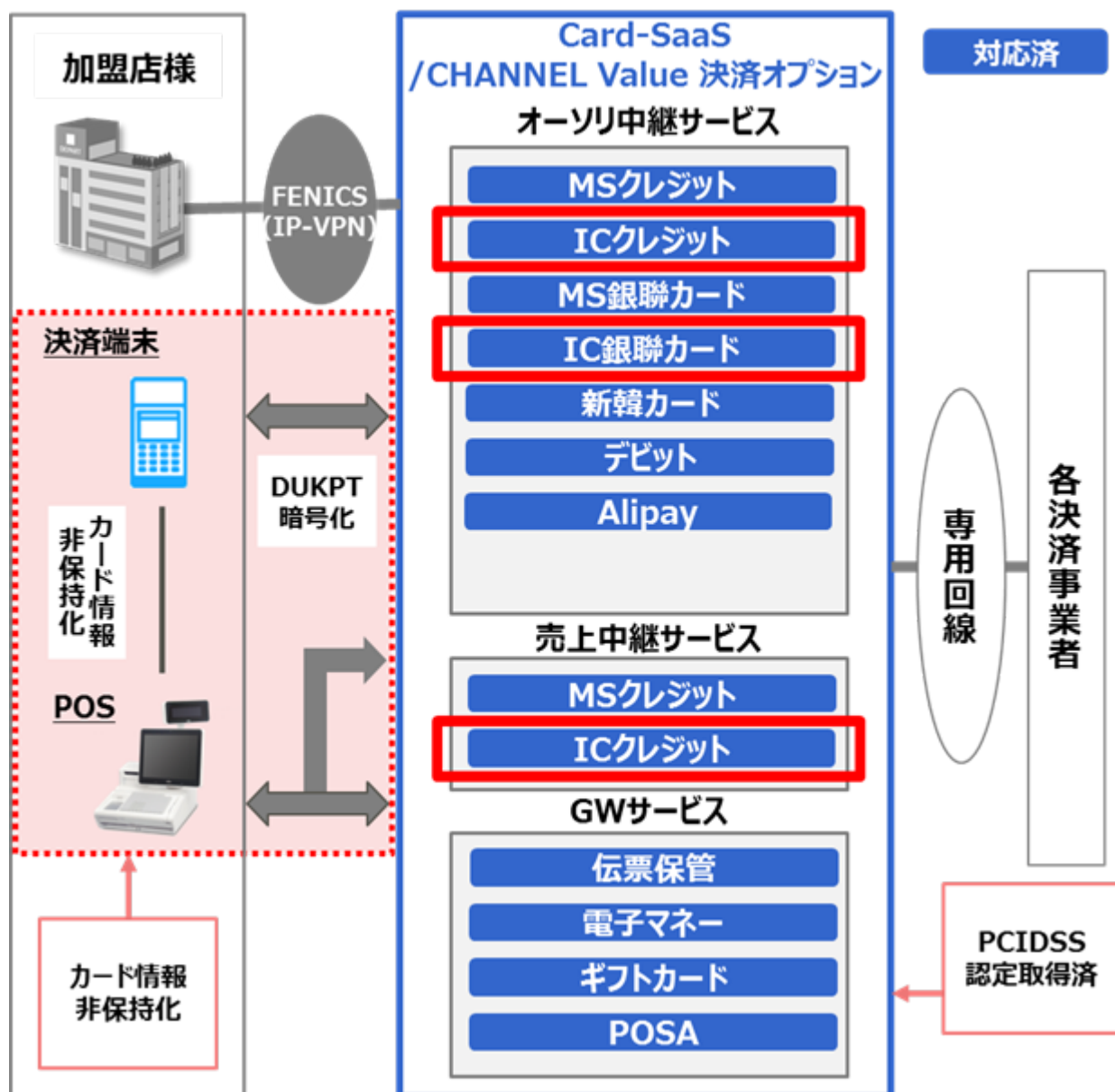
サービスの強化内容

1. IC決済中継サービスの拡充

本サービスでは、ICクレジット／IC銀聯カードの中継サービスの提供を開始しました。様々なセキュリティ要件を満たす必要があるIC決済の導入をサポートします。

2. 加盟店様のカード情報非保持化の実現に向けたサービスの提供

本サービスは、富士通グループ内で開発中の決済端末と連携することで、加盟店様でのカード情報の非保持化を外回り方式(注3)で実現し、加盟店様のセキュリティ対応の負荷を軽減いたします。



今後の取り組み

政府のキャッシュレス推進もあり、キャッシュレスに関するサービスは今後益々増えていくと予想されます。当社では、業界の動向を意識した更なるサービスの拡充に努めてまいります。

サービス名

Card-SaaS/CHANNEL Value クレジット決済中継	クレジットカード
Card-SaaS/CHANNEL Value 決済中継（即時引落とし型）	デビット、銀聯、新韓、Alipay

決済センターの特長

1. 小売企業向けの業務支援機能
小売業に精通している当社だからこそできるお客様の運用を意識したさまざまな業務支援機能を提供いたします。
 - カード会社別（店舗別）の売上照会
 - リアルタイムの取引照会 など
2. 各加盟店要件に合わせたカスタマイズが可能
お客様の要件に合わせてカスタマイズがおこなえる柔軟性の高いソリューションサービスを提供いたします。
3. 加盟店運用のセキュリティ対策ノウハウ
富士通決済センターは、PCI-DSS認証を取得しており、加盟店運用を意識したセキュリティ対策の支援が可能です。

主な決済機能

〔決済中継サービス〕	クレジットカード、デビット、銀聯、新韓、Alipay
〔ゲートウェイサービス〕	伝票保管、電子マネー、ギフトカード、ハウス電子マネー、POSA

動作環境

[決済中継サービス]	・ 当センター仕様に基づくTCP/IP接続
[売上伝送サービス（クレジット）]	・ HULFT8
[還元データ送信サービス（Alipay）]	・ HULFT8
[WEB帳票機能]	・ Internet Explorer 11 まで ・ Adobe Acrobat Reader DC 2015.008.20082 まで

注釈

- 注1 対面加盟店：
実店舗にて決済をおこなうクレジット加盟店
- 注2 実行計画：
クレジットカード取引のセキュリティ環境を整備するため策定された計画（2017年3月に策定され、2018年3月に改訂）
- 注3 外回り方式：
クレジットカード情報が加盟店システムを通過しない方式

関連リンク

- 「Card-SaaS クラウド型クレジット決済サービス」紹介サイト


商標について

- ・ 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ

お電話でのお問い合わせ

産業流通ソリューション本部
第一流通ソリューション部 Card-SaaS 担当

 092-707-5640

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

メールでのお問い合わせ

Card-SaaSに関するお問い合わせ

 [入力フォーム](#)

当社はセキュリティ保護の観点からSSL技術を使用しております

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)



[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#) > 2018年 > 食品製造業向け原価管理ソリューションを機能強化

PRESS RELEASE

2018年10月31日

株式会社富士通九州システムズ

食品製造業向け原価管理ソリューションを機能強化 ～生産計画・発注支援機能を追加提供し、生産業務の全般をサポート～

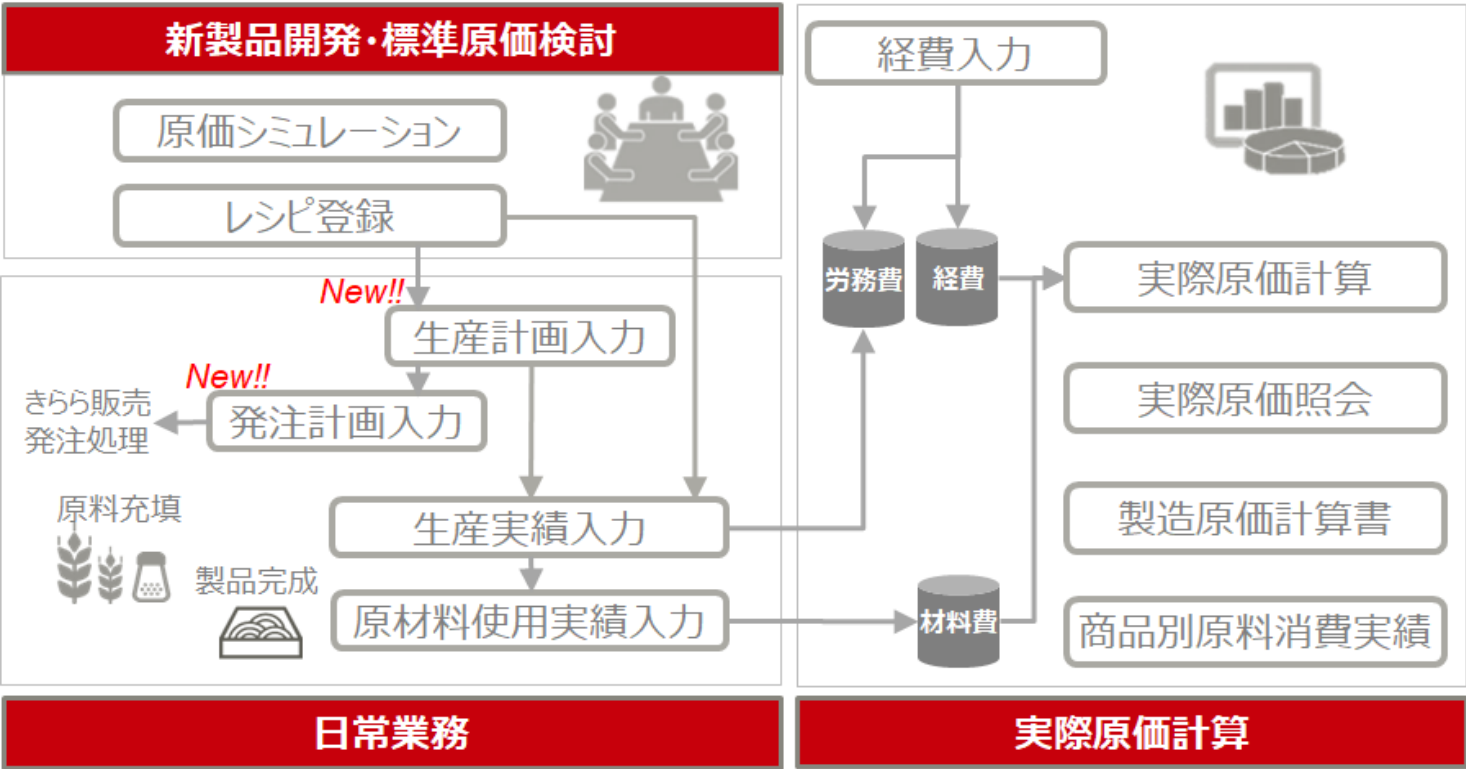
当社は、2018年11月1日から食品製造業向け原価管理ソリューション「QsConnect原価」を機能強化します。

これまでのレシピ登録情報をもとに生産実績入力から実際原価計算をおこなう機能に加え、生産計画、発注計画機能を強化します。生産計画～所要量計算～発注業務～実際原価計算をシステム化することで、資材所要量計画（MRP）の業務効率化、発注遅延防止、在庫の適正化が期待できます。

中堅の食品製造業においては、生産管理システムを含めたシステム導入が困難であり、販売管理システムの範囲において標準原価に対しての粗利管理が中心となっていました。そのため、どの製品がどれだけ利益を生んでいるか把握できない状況でした。

当社は、生産管理システムを導入していなくても容易な運用で標準原価計算と実際原価計算が可能となるソリューションとして「QsConnect原価」を販売しており、このたびお客様ニーズの高かった生産計画と発注計画の業務機能を追加しました。

QsConnect原価 運用イメージ



本製品の特長

- ## 1. 原材料、資材の発注精度向上<<機能追加>>

製品の生産計画に基づく所要量計算により、リードタイムも加味した原材料、資材の発注計画へ連動するため発注業務の効率化が見込め、発注精度がアップします。

- ## 2. 原価を意識した製品開発が可能

原価シミュレーション機能により、標準原価を参照しながらレシピ登録が可能になるため、利益を生むための新製品開発や既存製品の利益改善が容易に実施できます。

- ### 3. 1日のトータル実績を入力するだけの簡単運用

日毎の生産・消費実績および作業時間を入力するだけで、材料費の積算をおこないます。労務費・経費等の費用は、実際原価計算処理において製品毎にシステムで自動的に配賦します。

- #### 4. 工場毎、単品毎の原価を見える化

標準原価または実際原価計算と販売価格の差異により利益の見える化を図ります。また標準原価と実際原価の対比により、ロス等の原因に対して早急な対応を検討することができます。

動作環境

[必須ソフトウェア]
[サーバ]

- FUJITSU Enterprise Application GLOVIA きらら販売
- Windows Server 2016 (Standard)
- Windows Server 2012 / 2012 R2 (Standard)
- SQL Server 2016 (Standard, Enterprise)
- SQL Server 2014 (Standard, Business Intelligence, Enterprise)
- SQL Server 2012 (Standard, Business Intelligence, Enterprise)

[クライアント]

- Windows 10, Windows 8.1, Windows 7
- Excel 2016, 2013, 2010
- .NET Framework 4 以上
- Intel® Core i3-2120 2コア/3.30GHz以上推奨
- メモリ2GB以上推奨

関連リンク

➤ 食品製造業向け 原価管理ソリューション「QsConnect原価」紹介サイト

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ

お電話でのお問い合わせ

産業流通ソリューション本部 第二流通ソリューション部



092-707-5639

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

メールでのお問い合わせ

QsConnect原価に関するお問い合わせ



入力フォーム

当社はセキュリティ保護の観点からSSL技術を使用しております

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

コンテンツ利用条件

個人情報保護ポリシーについて

商標について

お問い合わせ

富士通ホームへ

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU



[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#) > [2018年](#) > [\(株\)富士通九州システムズ 役員人事について](#)

PRESS RELEASE

2018年10月26日
株式会社富士通九州システムズ

(株)富士通九州システムズ 役員人事について

当社は、本日開催の臨時株主総会において、下記の役員人事が決議されましたのでお知らせいたします。

記

10月26日付

代表取締役社長
兼 執行役員社長

石井 雄一郎

なお、前代表取締役社長 松井 和男は、退任いたしました。

以上

本件に関するお問い合わせ

お電話でのお問い合わせ

総務人事本部 総務部



092-260-6200

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

メールでのお問い合わせ

当社へのお問い合わせ



入力フォーム

当社はセキュリティ保護の観点からSSL技術を使用しております

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)



ホーム > お知らせ > プレスリリース > 2018年 > DDI Simulator ver.2.5を発売開始

PRESS RELEASE

2018年10月9日

株式会社富士通九州システムズ

DDI Simulator ver.2.5を発売開始

当社は、10月9日（火曜日）よりDDI Simulator ver.2.5を発売いたします。

本製品は、医薬品開発過程において必要とされる、薬物の併用投与時に薬効・副作用発現の変動を引き起こしうる薬物相互作用^(注1)の程度を、薬物動態パラメータの情報に基づき、予測するためのソフトウェアです。被相互作用薬の挙動を、生理学的薬物速度論モデル^(注2)を用いたシミュレーションにより定量的に予測します。

今回のバージョンアップでは、小腸代謝阻害・誘導モデルにおいて、消化管の水の量を組み込み、消化管における阻害薬/誘導薬の濃度が経時変化するように改良しました。これにより、実際の体内により近い薬物の挙動を表現することが可能となりました。誘導薬の濃度と誘導効果の関係がシグモイド型（S字曲線）を示す薬物にも対応し、誘導効果をより正確に予測することが可能となりました。

製品名

- DDI Simulator ver.2.5

新機能

- 小腸代謝阻害・誘導モデルの改良：
消化管の水の量を組み込み、消化管における阻害薬/誘導薬の濃度が経時変化するモデルにより、阻害/誘導の効果を予測します。
- 誘導薬の濃度と誘導効果の関係がシグモイド型（S字曲線）を示す薬物への対応：
誘導薬の濃度と誘導効果の関係がシグモイド型（S字曲線）を示す薬物の相互作用を予測します。
- Basicモデルの最新のガイドライン、ガイダンスへの対応：
厚労省によるガイドライン(2018)^(注3)、FDAによるドラフトガイダンス(2017)^(注4)に基づいたBasicモデルにより薬物相互作用のリスクを評価します。
- Rifampicinのパラメータ：
600mgの投与における基本の薬物動態パラメータおよび誘導パラメータ（CYP3A4、CYP2B6、CYP2C9）を登録しました。

発売日

- 2018年10月9日（火曜日）

価格

- 年間利用価格：2,500,000円～（税別）

注釈

- 注1 薬物相互作用：
血中に複数種類の薬物が存在することにより、薬物の作用が増強・減弱すること
- 注2 生理学的薬物速度論モデル：
薬物が、血液によって組織に運ばれて、組織に分布し、代謝・排泄する生体運命をそのまま記述しようとするモデル
- 注3 厚労省によるガイドライン(2018)：

注4 **FDA**によるドラフトガイダンス(2017)：

FDA/In Vitro Metabolism- and Transporter- Mediated Drug-Drug Interaction Studies Guidance for Industry

関連リンク

＞ 薬物体内動態シミュレーションソフト「DDI Simulator」

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ

お問い合わせ

富士通株式会社 ソーシャルデザイン事業本部 デジタルラボ事業部



お電話・メールでのお問合せ（富士通サイトへ）

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU



[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#) > 2018年 > [声優志望者向けソリューションの実証実験を開始](#)

PRESS RELEASE

2018年9月27日

株式会社富士通九州システムズ

声優志望者向けソリューションの実証実験を開始

当社は、合同会社WeAreと共に声優志望者向けにアフレコ練習が可能なソリューションを構築し、2018年12月から実証実験を開始します。

作品に対して自らの声を録音して再生したり、また他のユーザーの声と組み合わせてアフレコを楽しむなどのサービスを提供し、従来よりも手軽にアフレコの体験やスキルを磨くことを可能にします。

当社は、これまで漫画や声、音を組み合わせて作ったコンテンツを提供する新しいサービスについて展示会でのデモンストレーションを通じてフィードバックを得てまいりましたが、このたび、本サービスのコンセプトをベースに合同会社WeAreと共に2018年12月3日（月曜日）から声優志望者向けソリューションとして実証実験を開始いたします。

このソリューションは、声優志望者に対してアフレコの体験やサンプルボイスの作成が手軽にできる環境を提供します。また、他のユーザーとコラボレーションできる環境も提供されるため、声優志望者は自らのスキルを磨く場としての活用が可能になります。

当社は、本実証実験を通じ、新たなソリューションとしてのあり方や有効性を検証し、ニーズに応えるサービスの開発を推進してまいります。


商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ

お電話によるお問い合わせ

社会ソリューション本部 第四社会基盤ソリューション部

 03-6424-9769

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)



ホーム > お知らせ > プレスリリース > 2018年 > 日本薬物動態学会へ薬物相互作用予測ソフトを出展

PRESS RELEASE

2018年9月21日

株式会社富士通九州システムズ

日本薬物動態学会へ薬物相互作用予測ソフトを出展

当社は、10月1日（月曜日）から10月5日（金曜日）にかけて開催される「日本薬物動態学会第33年会／MDO国際合同学会」に薬物相互作用予測ソフトを出展します。

本会では、「Societal Impact of ADME/Tox Research on Safety & Toxicity of Drug Products」をテーマに、講演、シンポジウム、ワークショップ、ポスター発表などが開催されます。

当社ブースでは、薬物併用時の薬物相互作用を予測する「DDI Simulator」や薬物動態関連たんぱく質・薬物の相互作用情報を文献から収載した「ADME Database」のほか、薬の毒性・薬物動態予測をおこなう「ADMEWORKSシリーズ」を出展します。プレスリリースを見て事前にご連絡いただいた方には、個別相談会も実施しております。是非、当社ブースまでご来臨賜りますよう、お願い申し上げます。


日本薬物動態学会第33年会／MDO国際合同学会

- 期間：2018年10月1日（月曜日）～10月5日（金曜日）
- URL：<http://jssxmjoint.jp/index.html>

当社出展期間

- 10月2日（火曜日）8時30分～18時
- 10月3日（水曜日）8時30分～15時
- 10月4日（木曜日）8時30分～18時
- 10月5日（金曜日）8時30分～12時

会場

- 石川県立音楽堂 小間No.35
〒920-0856 石川県金沢市昭和町20-1
- URL：https://ongakudo.jp/c_access/417（アクセス | 石川県立音楽堂） 

当社出展ソリューション

1. 薬物体内動態シミュレーションソフト「DDI Simulator」

「DDI Simulator」は、薬物の併用投与時に薬効・副作用発現の変動を引き起こしうる薬物相互作用の程度を、体内動態パラメーターの情報に基づき、基質薬物の挙動について生理学的モデルを用いたシミュレーションで予測するソフトウェアです。

2. 薬物代謝酵素P450/トランスポータに関するデータベース「ADME Database」

「ADME Database」は、クロアチアのレンディック博士^(注1)が、文献から収集したヒトの薬物動態関連たんぱく質・薬物の情報^(注2)データベースです。薬物の吸収、分布、代謝、排泄に関わるチトクロームP450^(注3)、その他の薬物代謝酵素と薬物トランスポータ^(注4)情報を収載しています。

3. 毒性/薬物動態インシリコ予測システム「ADMEWORKSシリーズ」

「ADMEWORKSシリーズ」は、化学物質や薬物などの安全性と体内における変化を、コンピュータ上で評価するためのシステムです。製薬企業における新薬開発にだけ用いられるのではなく、動物実験代替法への関心が高まっていることもあり、化学メーカーや化粧品メーカーでもご利用いただいております。

4. PhysChem/ADME/Tox予測・評価ソフト「ACD/Percepta」

「ACD/Percepta」は、各種物性、薬物のADME(吸収、分布、代謝、排泄)、および毒性をコンピュータ上で評価するソフトウェアです。吸収に関する物性、分布容積、たんぱく結合、代謝部位、血中濃度推移等のADME特性、急性毒性、遺伝毒性などを、化合物の構造から得られる情報をもとに予測します。

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

用語説明

注1 レンディック博士:

レンディック博士は、薬物動態分野の著名な研究者です。

注2 薬物動態関連たんぱく質・薬物の情報:

投与された薬物が作用発現部位に到達する過程における、吸収、分布、代謝、排泄などに関連するたんぱく質情報です。

注3 チトクロームP450:

薬物を体外に排泄されやすい形に代謝する酵素です。

注4 トランスポータ:

トランスポータ薬物を輸送するたんぱく質です。

関連リンク

- 薬物体内動態シミュレーションソフト「DDI Simulator」
- 薬物代謝酵素P450/トランスポータに関するデータベース「ADME Database」
- 毒性/薬物動態インシリコ予測システム「ADMEWORKSシリーズ」

PhysChem/ADME/Tox予測・評価ソフト「ACD/Percepta」

本件に関するお問い合わせ

お問い合わせ

富士通株式会社 ソーシャルデザイン事業本部 デジタルラボ事業部



お電話・メールでのお問合せ（富士通サイトへ）

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)



[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#) > 2018年 > **CBI学会へ毒性予測ソフトを出展**

PRESS RELEASE

2018年9月21日

株式会社富士通九州システムズ


CBI学会へ毒性予測ソフトを出展

当社は、10月9日（火曜日）から10月11日（木曜日）にかけて開催されるCBI学会^(注1)2018年大会に毒性予測システムを出展します。

本年のCBI学会は、「創薬と育薬のレギュラトリサイエンス ～AI創薬時代の新展開～」をテーマに、講演、シンポジウム、ワークショップ、ポスター発表などが開催されます。

当社ブースでは、薬の毒性・薬物動態予測をおこなう「ADMEWORKSシリーズ」、薬物併用時の薬物相互作用を予測する「DDI Simulator」のほか、薬物動態関連たんぱく質・薬物の相互作用情報を文献から収載した「ADME Database」を出展します。プレスリリースを見て事前にご連絡いただいた方には、個別相談会も実施しております。是非、当社ブースまでご来臨賜りますよう、お願い申し上げます。


CBI学会2018年大会

- 期間：2018年10月9日（火曜日）～10月11日（木曜日）
- URL：[CBI学会2018年大会](#) 

当社出展期間

- 10月9日（火曜日）10時～18時30分
- 10月10日（水曜日）10時～19時
- 10月11日（木曜日）10時～15時

会場

- タワーホール船堀 1階 展示ホール ブース番号17
〒134-0091 東京都江戸川区船堀4-1-1
- URL：<http://www.towerhall.jp/>（タワーホール船堀 | ホーム） 

当社出展ソリューション

1. 毒性/薬物動態インシリコ予測システム「ADMEWORKSシリーズ」

「ADMEWORKSシリーズ」は、化学物質や薬物などの安全性と体内における変化を、コンピュータ上で評価するためのシステムです。製薬企業における新薬開発にだけ用いられるのではなく、動物実験代替法への関心が高まっていることもあり、化学メーカーや化粧品メーカーでもご利用いただいております。

2. PhysChem/ADME/Tox予測・評価ソフト「ACD/Percepta」

「ACD/Percepta」は、各種物性、薬物のADME(吸収、分布、代謝、排泄)、および毒性をコンピュータ上で評価するソフトウェアです。吸収に関する物性、分布容積、たんぱく結合、代謝部位、血中濃度推移等のADME特性、急性毒性、遺伝毒性などを、化合物の構造から得られる情報をもとに予測します。

3. 薬物体内動態シミュレーションソフト「DDI Simulator」

「DDI Simulator」は、薬物の併用投与時に薬効・副作用発現の変動を引き起こしうる薬物相互作用の程度を、体内動態パラメーターの情報に基づき、基質薬物の挙動について生理学的モデルを用いたシミュレーションで予測するソフトウェアです。

4. 薬物代謝酵素P450/トランスポーターに関するデータベース「ADME Database」

「ADME Database」は、クロアチアのレンディック博士^(注2)が、文献から収集したヒトの薬物動態関連たんぱく質・薬物の情報^(注3)データベースです。薬物の吸収、分布、代謝、排泄に関わるチ

トクロームP450^注、その他の薬物代謝酵素と薬物トランスポータ^注情報を収載しています。

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

用語説明

注1 CBI学会:

化学（Chemistry）、生物学（Biology）、情報計算学（Informatics）という3つの学問分野に関わる先端的な研究開発の基盤構築をめざす非営利の学術任意団体です。

注2 レンディック博士:

レンディック博士は、薬物動態分野の著名な研究者です。

注3 薬物動態関連たんぱく質・薬物の情報:

投与された薬物が作用発現部位に到達する過程における、吸収、分布、代謝、排泄などに関連するたんぱく質情報です。

注4 チトクロームP450:

薬物を体外に排泄されやすい形に代謝する酵素です。

注5 トランスポータ:

トランスポータ薬物を輸送するたんぱく質です。

関連リンク

➤ 毒性/薬物動態インシリコ予測システム「ADMEWORKSシリーズ」

PhysChem/ADME/Tox予測・評価ソフト「ACD/Percepta」

➤ 薬物体内動態シミュレーションソフト「DDI Simulator」

➤ 薬物代謝酵素P450/トランスポータに関するデータベース「ADME Database」

本件に関するお問い合わせ

お問い合わせ

富士通株式会社 ソーシャルデザイン事業本部 デジタルラボ事業部



お電話・メールでのお問合せ（富士通サイトへ）

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU



ホーム > お知らせ > プレスリリース > 2018年 > 「サイバーセキュリティセミナー2018」の開催

PRESS RELEASE

2018年9月20日

株式会社富士通九州システムズ


「サイバーセキュリティセミナー2018」の開催 ～2020年を見据え企業に取り組むべきレジリエンス力向上施策～

当社は、2018年10月2日（火曜日）「サイバーセキュリティセミナー2018」を開催いたします。

ビジネスにおけるICT利活用の進展や依存度の高まりに伴い、サイバーリスクの脅威が年々複雑化し、サイバーセキュリティの対応はビジネスにおける最重要課題の1つになりつつあります。サイバーセキュリティにおけるレジリエンス力の要諦は「防御・検知・対応」ですが、近年では「防御の困難性」を前提としたレジリエンス力の向上が求められています。


本セミナーでは、レジリエンス力をテーマとし、検知や対応力向上のための演習、人材育成等について解説いたします。

開催概要

- 日時：2018年10月2日（火曜日）13時30分～16時（13時～ 受付開始）
- 場所：品川インタシティホール棟B1F 会議室1、2
URL：<http://sic-hall.com/access/>（アクセス | 東京品川インターシティホール&貸会議室） 

- 定員：80名（先着順、参加費無料） ※最少催行人数：20名

詳細およびお申込み

- サイバーセキュリティセミナー2018～2020年を見据え企業に取り組むべきレジリエンス力向上施策
～ 

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

お問い合わせ先

- 富士通株式会社 セキュリティオファリング統括部 プロモーション推進部
電話：0120-55-9019 e-mail：contact-securus@cs.jp.fujitsu.com
- 株式会社富士通九州システムズ セキュリティ&ソーシングソリューション本部 教育ソリューション部
電話：03-6424-9928 e-mail：fjqs-learning@cs.jp.fujitsu.com

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

コンテンツ利用条件

個人情報保護ポリシーについて

商標について

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU



ホーム > お知らせ > プレスリリース > 2018年 >

第79回応用物理学会秋季学術講演会へ分子シミュレーションソフトを出展

PRESS RELEASE

2018年9月5日

株式会社富士通九州システムズ

第79回応用物理学会秋季学術講演会へ分子シミュレーションソフトを出展


当社は、9月18日（火曜日）から9月21日（金曜日）にかけて開催される第79回応用物理学会秋季学術講演会に分子シミュレーションソフトの出展をします。

当社ブースでは、計算化学の統合プラットフォーム「SCIGRESS」を出展します。


「SCIGRESS」は、原子・分子レベルの微細な挙動や性質を解析するシミュレーション・ソフトウェアです。低分子、高分子、結晶、アモルファス^(注1)など多岐にわたるモデリング機能や、分子軌道法^(注2)、分子動力学法^(注3)、密度汎関数法^(注4)など様々な計算化学の手法を搭載し、新材料、新素材の研究開発を支援します。

是非、当社ブースまでご来臨賜りますよう、お願い申し上げます。

第79回応用物理学会秋季学術講演会

- 期間：2018年9月18日（火曜日）～9月21日（金曜日）
- URL：<https://meeting.jsap.or.jp/>（第79回応用物理学会秋季学術講演会） 

会場

- 名古屋国際会議場 イベントホール 小間No. As-3
〒456-0036 愛知県名古屋市熱田区熱田西町1番1号
- URL : <http://www.nagoya-congress-center.jp/access/> (交通アクセス | 名古屋国際会議場) 

当社出展期間

- 2018年9月18日（火曜日）12時00分～18時00分
- 2018年9月19日（水曜日）9時30分～18時00分
- 2018年9月20日（木曜日）9時30分～18時00分
- 2018年9月21日（金曜日）9時30分～15時30分

当社出展ソリューション

- **計算化学統合プラットフォーム「SCIGRESS」**
「SCIGRESS」は容易な分子モデリング機能、多様な計算機能、強力な解析機能を、操作性の高いGUI環境から操作できる分子シミュレーションソフトです。多くの計算手法（分子力学法、分子動力学法、分子軌道法、密度汎関数法）や解析機能を包含し、幅広い研究に活用いただけます。
「GAMESS」、「LAMMPS」、「Quantum ESPRESSO」、「PHASE」、「Gaussian」といった富士通製以外のアプリケーションとも共通のGUIを介して円滑な連携が可能です。

注釈

注1 **アモルファス:**
原子配列が不規則で結晶構造を持たない物質の状態。

注2 **分子軌道法:**

分子の中の電子状態を解明するのに用いられる手法。

注3 分子動力学法:

ゆらいでいる分子の動きを追跡することで物質の性質を求める手法。

注4 密度汎関数法:

電子系のエネルギーなどの物性を電子密度から計算する理論に基づく電子状態計算法。

関連リンク

➤ [ライフサイエンス製品一覧](#)

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ

お問い合わせ

富士通株式会社 ソーシャルデザイン事業本部 デジタルラボ事業部



お電話・メールでのお問合せ（富士通サイトへ）

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU



[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#) > 2018年 >

「FUJITSUソリューション祭り2018 in 九州」へQsConnectシリーズを出展

PRESS RELEASE

2018年8月31日

株式会社富士通九州システムズ

「FUJITSUソリューション祭り2018 in 九州」 へQsConnectシリーズを出展


当社は、9月20日（木曜日）に開催される「FUJITSUソリューション祭り2018 in九州」にQsConnectシリーズのパッケージソリューションを出展します。

当日は、「富士通の創る働き方の未来 ～AI・IoT・働き方改革～」をテーマに各種講演がおこなわれるほか、様々な業種・業務ソリューションや先端のプロダクトやサービスなどが展示されます。


当社は、顧客ロイヤリティ向上を支援する「QsConnect顧客管理」、原価の見える化と販売価格の適正化をサポートする「QsConnect原価」、通販業務の効率化をサポートする「QsConnect通販」を出展します。是非、当社ブースまでご来臨賜りますよう、お願い申し上げます。

FUJITSUソリューション祭り2018 in 九州

- 期間：2018年9月20日（木曜日）〔講演〕13時00分～16時30分 〔展示〕12時00分～17時30分

- 主催：株式会社 富士通マーケティング
- URL：<http://www.fujitsu.com/jp/group/fjm/resources/events/solfesta-2018/kyushu/>（FUJITSUソリューション祭り2018 in 九州） 

会場

- ホテルオークラ福岡4階 〔講演〕 平安の間Ⅱ 〔展示〕 平安の間Ⅲ
〒812-0027 福岡市博多区下川端町3-2 博多リバレイン
- URL：<https://www.fuk.hotelokura.co.jp/>（ホテルオークラ福岡） 

当社出展ソリューション

1. QsConnect顧客管理

顧客管理のトータルプロセスをサポートする量販店様・専門店様向け顧客管理ソリューションです。「point+plus(アララ株式会社の店舗向け販促パッケージ)」と連携し、顧客IDの一元管理、ポイントや電子マネー機能、お客様向けのマイページ機能、オムニチャネルに対応した分析機能、メール、DMによる販促機能を提供します。

2. QsConnect原価

食品製造業様向け原価管理ソリューションです。一日の生産量をトータルで入力し、原材料の消費実績数と労務費・間接費を生産実績の工数・重量で各製品に配賦することで、実際原価を計算できる原価管理ソリューションです。

3. QsConnect通販

通販業務に必要な顧客管理・受注管理・販促・分析機能をオールインワンしたソリューションです。基本パッケージに必要なオプションを組み合わせることで、単品リピート通販や産直系ギフト通販などの必要な機能を網羅し、お客様の業務効率化をサポートいたします。

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。


関連リンク

- > QsConnect顧客管理
- > QsConnect原価
- > QsConnect通販

本件に関するお問い合わせ

お電話によるお問い合わせ

産業流通ソリューション本部 ビジネスマネジメント室

 092-707-5639

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

コンテンツ利用条件

個人情報保護ポリシーについて

商標について

お問い合わせ



[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#) > 2018年 > **AI技術を活用した自動検知型BIパッケージを販売開始**

PRESS RELEASE

2018年8月29日

株式会社富士通九州システムズ

AI技術を活用した自動検知型BIパッケージを販売 開始

～目指すは、マネージャーのためのコンシェルジュ～

当社は、AI技術を活用して問題点を自動で検知するBIパッケージ「AI-Reco アイレコ」を開発し、2018年8月30日から販売を開始します。

本製品は、データを帳票・グラフ形式にして利用者自身が問題点を探る従来のBIパッケージとアプローチを全く逆にして、利用者が個々に設定したアラーム値で自動的に検知した分析結果からスタートできます。また、AI技術を使ったデータの異常値検出機能や無変動検出機能も搭載しました。従来のBIパッケージに比べ分析時間を削減できるとともに分析精度も向上されており、さまざまな業界の営業部門、会計部門のマネージャーやリーダーの判断業務を支援します。

問題発見や施策立案のための「現状調査／分析」「将来分析」のニーズは高いものの、現場の管理業務に携わるマネージャーやリーダーは多忙で、それに割く時間が限られています。また、従来のBIパッケージの操作は難しく、思うように活用できていないといった利用者が少なくありません。

本製品では、アラーム値を利用者自身で設定し、問題が発生したら自動通知するため、結論から先に知ることができ、問題に気付くまでの時間を従来より短縮します。さらにAI技術を使うことで、通常

は変動しないデータに変動があった場合、あるいは逆に変動するデータが変動しない場合に自動で検知することが可能になりました。AI技術を活用した簡易分析と予測機能で、施策立案業務をサポートいたします。

本製品の特長

1. 問題点をアラームで通知

利用者が設定したアラーム値で問題点を自動通知します。従来、利用者自身で探し出していた問題点を自動検出し通知することで、従来のBIパッケージで初期分析にかけていた時間の削減を図ります。

2. AI技術を活かしたアラームの通知

AI技術を使って、異常な値変動データ（異常値検出、無変動値検出）を検出することが可能になりました。定期保守系商品など毎月定額的に売上が上がる商品の落ち込みや、売上が上がらなくなった商品を素早く検知できます。

3. 予測機能を標準装備

使用目的に合わせて性能重視、速度重視の予測エンジンの選択が可能です。実績データを基に、予測エンジンがお客様の未来予測のサポートをおこないます。^(注1)

動作環境

サーバ：	Microsoft Windows Server 2016
ミドルウェア要件：	Interstage Application Server (V12)
クライアント：	Microsoft Windows 7/8.1/10 が動作するPC/AT互換機
ブラウザ：	Microsoft Internet Explorer 11

注釈

注1 予測エンジンはOSS(Open Source Software)のエンジンを使用しています。予測結果に対して当社は責任を負いません。予測結果の値はお客様の判断でご利用ください。

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ

AI-Reco に関するお問い合わせ

 fjqs-aireco@cs.jp.fujitsu.com

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)



ホーム > お知らせ > プレスリリース > 2018年 > 2018年日本液晶学会討論会へ液晶化合物データベースシステムを出展

PRESS RELEASE

2018年8月28日

株式会社富士通九州システムズ


2018年日本液晶学会討論会へ液晶化合物データベースシステムを出展

当社は、9月4日（火曜日）から9月6日（木曜日）にかけて開催される2018年日本液晶学会討論会（JLCC2018）に液晶化合物データベースシステムを出展します。

本年の討論会は、「液晶研究の新潮流」を年会テーマとして開催され、当社ブースでは、液晶化合物に関する情報を収集した「LiqCryst」を出展します。液晶化合物に関する情報は日々増加しており、液晶研究者にとって液晶化合物に関する最新情報を迅速かつ効率的に収集することは欠かせません。「LiqCryst」は1995年より世界初の液晶化合物データベースシステムとして提供し、全世界の液晶研究者に活用されています。

プレスリリースを見て事前にご連絡いただいた方には、個別相談会も実施しております。是非、当社ブースまでご来臨賜りますよう、お願い申し上げます。


2018年日本液晶学会討論会

- 期間：2018年9月4日（火曜日）～ 9月6日（木曜日）
- URL：<https://jlcs.jp/ekitou/>（2018年日本液晶学会討論会・液晶交流会） 

当社出展期間

- 2018年9月4日（火曜日） 9時00分～17時30分
- 2018年9月5日（水曜日） 9時00分～17時00分

会場

- 岐阜大学
〒501-1193 岐阜市柳戸1-1
- URL : <https://www.gifu-u.ac.jp/access/>（交通アクセス | 国立大学法人 岐阜大学） 

当社出展ソリューション

- **液晶化合物データベースシステム「LiqCryst」**
ハンブルク大学（ドイツ）教授Dr. Volkmar Villにより開発された液晶化合物データベースシステムです。液晶化合物の情報（化学構造・物理特性値・文献情報など）検索や、検索結果の統計分析、相転移温度の予測に利用できます。

関連リンク

- [液晶化合物データベースシステム「LiqCryst」](#)

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ

お問い合わせ

富士通株式会社 ソーシャルデザイン事業本部 デジタルラボ事業部



お電話・メールでのお問合せ（富士通サイトへ）

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)



ホーム > お知らせ > プレスリリース > 2018年 > 「IoT/ICTを活用したモノづくり革新」セミナーの開催

PRESS RELEASE

2018年8月21日

株式会社富士通九州システムズ

「IoT/ICTを活用したモノづくり革新」セミナーの 開催

～設計・製造現場におけるこれからの情報活用～


当社は、2018年9月6日(木曜日)に、「IoT/ICTを活用したモノづくり革新」セミナーを富士通関西システムラボラトリにて開催いたします。

ドイツの「Industrie4.0」、アメリカの「Industrial Internet Consortium」、そして日本では「Industrial Value-Chain Initiative」などIoT/ICT技術の活用において、製造業界は新たな局面を迎えようとしています。そのような中、工場の見える化/スマート工場の実現に向けたIoT/ICT技術の導入で足踏みをしている企業も少なくありません。

本セミナーでは、モノづくりの現場革新のためのIoT/ICT技術を活用した取り組みをご紹介します。是非この機会にご参加いただき、今後のご参考にしていただければと存じます。

「IoT/ICTを活用したモノづくり革新」セミナー

1.日時： 2018年9月6日（木曜日）13時50分～15時55分（受付13時30分）

- 2.会場： 富士通株式会社 関西システムラボラトリ（8F）B会議室
大阪府大阪市中央区城見2-2-6
URL：<https://www.fujitsu.com/jp/about/corporate/facilities/kansai/>（富士通株式会社 関西システムラボラトリのご案内・地図） 
- 3.定員： 20名
- 4.内容： 第1部（14時00分～14時35分）
エンジニアリングIoTで実現する次世代モノづくり～IoTで支援する生産性向上～
第2部（14時35分～15時10分）
ICTを活用した生産エンジニアリング革新～スマートなモノづくり実現に向けて～
第3部（15時20分～15時55分）
製造現場で活用する画像処理技術～AIを活用した画像処理技術～
- 5.申込み： セミナーの詳細およびお申込み方法については、下記「本件に関するお問い合わせ」までご連絡をお願いします。

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ

お電話によるお問い合わせ

エンジニアリングソリューション本部 エンジニアリング営業部 松村



06-6920-5900

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU



[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#) > 2018年 >

クラウド対応型文書管理システム「GLOVIA smart ECM SaaS」を販売開始

PRESS RELEASE

2018年7月31日

株式会社富士通九州システムズ

クラウド対応型文書管理システム「GLOVIA smart ECM SaaS」を販売開始

～ペーパーレス化によるオフィスの生産性向上を支援～

当社は、文書管理システムをクラウドサービスにて提供する「GLOVIA smart ECM SaaS」を、8月1日から販売開始します。

本製品は、お客様が所有する紙文書やファイルサーバに蓄積された価値ある資産をクラウド上に安全に保管し、業務効率を支援するサービスです。

さまざまな業種のお客様を対象としており、文書検索業務の約20%^(注1)の短縮が可能になります。さらに今後、e文書法に対応した機能を追加することで利用シーンの拡充を図り、2020年度末までに約50社の導入を目指します。

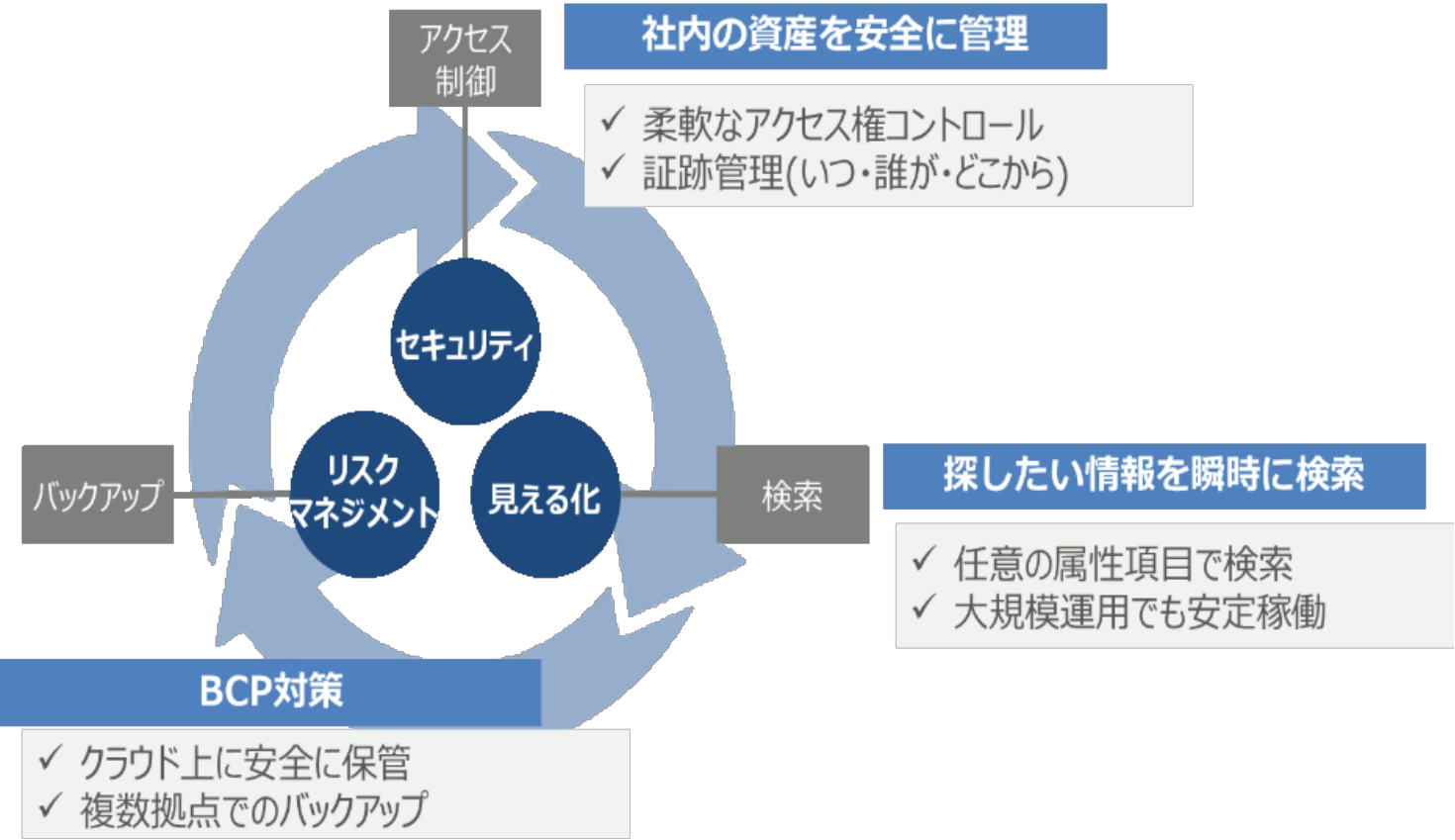
当社では、これまで文書管理システムをオンプレミス型にて提供してまいりました。特に製造業においては、図面管理として、多くのお客様にご利用いただいております。

昨今、文書管理市場におけるクラウド化のニーズの拡大、連携先システムのクラウド化が加速しています。これを踏まえ、当社では、累計約450セット以上の出荷実績がある「GLOVIA smart

(注2)

(注1)

ECM」 をクラウド化しました。本サービスの導入により、文書検索業務の約20% の短縮が可能になります。また、クラウド上にデータを保存することにより、災害時においてもデータの保全を図り、紙文書保管スペースの削減にも貢献します。



販売価格、および出荷時期

製品名	サービス内容	販売価格（税込）	出荷時期
GLOVIA smart ECM SaaS スタンダード基本サービス	<ul style="list-style-type: none">初期10ID配布、オプションにより100IDまで利用可能初期10GB配布、オプションにより110GBまで利用可能	70,000円／月	2018年8月1日から
	<ul style="list-style-type: none">初期100ID配布、オプションによ		

GLOVIA smart ECM SaaS プロフェッショナル 基本サービス	り1,000IDまで利用 可能 <ul style="list-style-type: none"> 初期500GB配布、 オプションによ り1TBまで利用可能 	200,000円／月	2018年8月1日から
---	--	------------	-------------

販売目標

- 国内において2020年度末までに約50社の導入を計画。

本製品の特長

1. 社内の資産を安全に管理

- 柔軟なアクセスコントロールで不要なアクセスを制御します。
- 証跡管理によって、「いつ」「誰が」「どこから」「どの」ファイルにアクセスしたのか確認できます。

2. 探したい情報を瞬時に検索

- 各ファイル、フォルダに任意に設定した管理項目による検索が可能です。
- 1TBのデータ容量でも安定稼動を実現します。

3. BCP対策

- 文書データは、クラウドサーバ上に保管され、業務中断するリスクを最小限に抑えます。
- 他地域の複数拠点でデータのバックアップをおこなうため、災害時のデータ保全性に優れています。

注釈

注1 紙文書では書類検索に1人あたり8.9時間（週）かかっていたが、システム化により約7時間（週）に削減。（当

社調べ)

注2 GLOVIA smart ECM：当社の文書管理システム

動作環境

- OS：Microsoft® Windows® 7/8.1/10
- ブラウザ：Microsoft® Internet Explorer 10/11

関連リンク

＞ クラウド対応型文書管理システム「GLOVIA smart ECM SaaS」

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ

お電話でのお問い合わせ

産業流通ソリューション本部 製造・ERPソリューション部 小川、堀内



092-707-5638

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU



[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#) > 2018年 >

富士通九州システムズと富士通ラーニングメディア、最新技術やヒューマン/ビジネススキルを学べるラーニングセンターを新たに九州地区に開設

PRESS RELEASE

2018年7月19日

株式会社富士通ラーニングメディア
株式会社富士通九州システムズ

富士通九州システムズと富士通ラーニングメディア、最新技術やヒューマン/ビジネススキルを学べるラーニングセンターを新たに九州地区に開設

総合人材育成企業 株式会社富士通ラーニングメディア（代表取締役執行役員社長：青山昌裕 本社：東京都港区）は、株式会社富士通九州システムズ（代表取締役社長：松井和男 本社：福岡県福岡市）と共同で最新技術を学べるラーニングセンターを福岡県福岡市に新たに開設し、2018年10月1日より講習会の提供を開始します。

企業における人材育成は、新ビジネス創出や競争力強化に必要不可欠なものとしてニーズが多様化しております。九州地区では、製造業のものづくりの拠点やインバウンドなどによる経済活性が強く見込まれており、人材の育成が急務となっています。

当社は、こうした人材育成ニーズの高まりに応えるべく、株式会社富士通九州システムズと共同で、福岡県福岡市に新たなラーニングセンターを開設し、最新技術やヒューマン/ビジネススキル講座の提供を開始します。

九州ラーニングセンター概要

- 開設：2018年10月1日
- 住所：〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1丁目16-25 アスクビル カンファレンスASC

提供コースならびにお申込み


- 以下URLよりご覧下さい。
URL：<http://www.knowledgewing.com/kw/west/kyushu/>（九州ラーニングセンター開設） 

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

株式会社富士通ラーニングメディアについて

国内最大規模の総合人材研修企業として企業の人材育成のトータルソリューションを提供しております。あらゆる業種の企業や公共機関・団体を対象に、「ITテクニカルスキル」から「ヒューマン・ビジネススキル」まで、オープンコースを約1,520コース、年間約92,000人の受講者に提供しております。

- [株式会社富士通ラーニングメディア サイト](#) 

株式会社富士通九州システムズについて

最新のテクノロジーと長年培ってきた業種・業務ノウハウを基に、企画・コンサルティングからシステム構築、システム運用まで、トータルなサービスを提供しております。人材育成に関しては、ICT技術研修を中心に、新人研修やお客様のご要望にお応えするオンサイト研修、各種マニュアルやWebコ


ンテンツ制作、翻訳サービス等を提供しております。

➤ [株式会社富士通九州システムズ サイト](#)

報道関係者お問い合わせ

- 株式会社富士通ラーニングメディア プロモーション推進部（広報担当）
電話：03-6710-1490（直通） e-mail：flm-pr@cs.jp.fujitsu.com
- 株式会社富士通九州システムズ セキュリティ&ソーシングソリューション本部 教育ソリューション部
電話：092-707-5634（直通） e-mail：fjqs-learning@cs.jp.fujitsu.com

お客様お問い合わせ先

- 株式会社富士通ラーニングメディア お客様総合センター
電話：0120-55-9019  [お問い合わせフォーム](#)
- 株式会社富士通九州システムズ セキュリティ&ソーシングソリューション本部 教育ソリューション部
電話：092-707-5634（直通） e-mail：fjqs-learning@cs.jp.fujitsu.com

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

コンテンツ利用条件

個人情報保護ポリシーについて

商標について

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU



ホーム > お知らせ > プレスリリース > 2018年 > 生産性向上スクールで「3Dで創るスマートものづくり」を講演

PRESS RELEASE

2018年7月19日

株式会社富士通九州システムズ

生産性向上スクールで「3Dで創るスマートものづくり」を講演

当社は、公益財団法人 北九州産業学術推進機構（FAIS）様が主催する生産性向上スクール内のカリキュラムで、3Dで創るスマートものづくり入門セミナーをテーマに講演いたします。

生産性向上スクールは、中小企業の生産性向上を図るため、ロボット、IoT、AIといった新技術導入をコーディネートする人材を育成するスクールです。


当社講演セッションでは、3Dデータを活用した仮想試作機、仮想ラインによる組立性検討、レイアウト検討、歩行動線検討など、生産準備業務の高度化を支援するソリューションと事例をご紹介します。是非、お申込み賜りますようお願い申し上げます。

生産性向上スクール

- 期間：2018年8月10日（金曜日）～2019年1月17日（木曜日）
- URL：<https://www.ksrp.or.jp/faish/news/archives/2018/06-003781.html>（ロボット・IoT・AI等を活用した生産性向上スクールのご案内）

- 第一次申込締切：2018年7月31日（火曜日）


当社講演セッション

- 日程：2018年9月28日（金曜日）10:00 ～ 16:00（後半）
- 会場：西日本総合展示場 新館（北九州市小倉北区浅野三丁目8-1）
URL：<http://convention-a.jp/access/>（[西日本総合展示場 | 交通アクセス](#)）
- 講座名：IoT編 No3.設計から量産まで3Dで創るスマートものづくり入門セミナー

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

関連リンク

- [講演内でご紹介するデジタル生産準備ソリューションVPSシリーズ](#) 

本件に関するお問い合わせ

お電話でのお問い合わせ

エンジニアリングソリューション本部 デジタルシミュレーション部 山口



092-260-6225

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU



ホーム > お知らせ > プレスリリース > 2018年 >

食・農クラウド「Akisai」シリーズの牛の分娩室モニタリングシステム「牛見時」を販売開始

PRESS RELEASE

2018年7月18日

株式会社富士通九州システムズ

食・農クラウド「Akisai」シリーズの牛の分娩室 モニタリングシステム「牛見時」を販売開始 ～画像認識技術で牛の分娩室をモニタリング～

当社は、牛の分娩室での行動量の増減を検知し、畜産農家に通知する牛の分娩室モニタリングシステム「牛見時（うしみどき）」を開発し、2018年7月より販売を開始します。

本製品は、画像認識技術を利用することにより、分娩室における牛の行動量の著しい変化を検知し、畜産農家にメールで通知するシステムであり、2015年からさまざまな圃場にて画像認識の実証実験を経て開発したものです。なお、本システム基盤には、ニフクラを使用しています。

分娩室における牛の行動量の変化には、さまざまな理由が考えられます。畜産農家は、これまで夜間も含め常に分娩室の状況を監視する必要がありました。分娩室をリモートで監視することで、いち早く行動量の変化を把握することが可能となり、農家の負担を大きく軽減することができます。

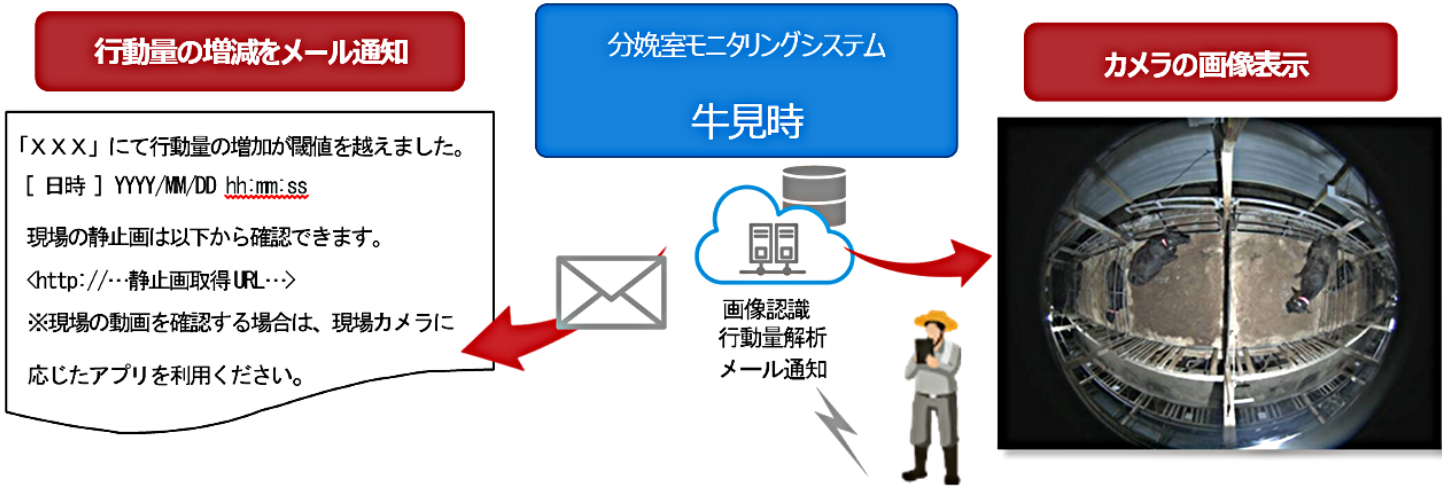
製品名

- 牛見時（うしみどき）

システム概要

牛の行動量を自動で検知・通知する仕組みを提供し、畜産農家の負担を軽減します。

- 牛の行動量の増減をメール通知
牛の行動量が設定値を超えた場合、メールでお知らせします。
- カメラの画像表示
メール本文に記載のURLをクリックすると、現在のカメラ画像を表示します。
- メール通知の条件設定画面
メール通知の条件等を、分娩室毎に設定することができます。



国内販売価格

品名	販売価格（税別）	備考	サービス開始時期
サービス利用料	月額 5,000円	カメラ1台あたりのサービス費用	2018年7月

[ご参考：システム導入に必要な機器一覧（別途、お客様手配）]

品名	型名	防塵・防水	備考
固定ドームネットワークカメラ	M3027-PVE	IP66	※工事の際、別途機材が必要になる場合があります。
ネットワークカメラ	BB-SW174W	IP55 相当	
ネットワークカメラ	BB-SP104W	室内	
エッジコンピュータ	-	-	
モバイルルータ	-	-	

販売目標

- 国内において今後3年間で1,200ライセンス（約300農家）の販売を計画。

動作環境

- Google Chrome（最新版）

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。


関連リンク

- ＜ 分娩室モニタリングシステム 牛見時（うしみどき）

本件に関するお問い合わせ

お電話でのお問い合わせ

未来社会ソリューション本部 ソーシャルICTソリューション部 高嶋

 092-260-6210

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)



ホーム > お知らせ > プレスリリース > 2018年 > 日本毒性学会へ毒性・薬物動態予測ソフトを出展

PRESS RELEASE

2018年7月6日

株式会社富士通九州システムズ


日本毒性学会へ毒性・薬物動態予測ソフトを出展

当社は、7月18日（水曜日）から7月20日（金曜日）にかけて開催される第45回日本毒性学会学術年会に毒性・薬物動態予測ソフトウェアを出展します。

本年の日本毒性学会学術年会では、「インタラクティブ 毒性研究とリアルワールドへの応用」をテーマに、講演、シンポジウム、ワークショップ、ポスター発表などが開催されます。

当社ブースでは、化合物の毒性・薬物動態予測をおこなう「ADMEWORKS」シリーズ、薬物動態関連たんぱく質・薬物の相互作用情報を文献から収載した「ADME Database」、薬物併用時の相互作用を予測する「DDI Simulator」を出展します。プレスリリースを見て事前にご連絡いただけた方には、個別相談会も実施いたします。是非、当社ブースまでご来臨賜りますよう、お願い申し上げます。


第45回日本毒性学会学術年会

- 期間：2018年7月18日（水曜日）～7月20日（金曜日）
- URL：<http://jsot2018.jp/>（第45回日本毒性学会学術年会） 

当社出展期間

- 7月 18日（水曜日） 9:30～18:00
- 7月 19日（木曜日） 9:00～18:00
- 7月 20日（金曜日） 9:00～15:30

会場

- 大阪国際会議場 3F イベントホール B～E 小間No.73
〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島5丁目3-51
- URL：<https://www.gco.co.jp/access/>（大阪国際会議場 | 交通アクセス） 

当社出展ソリューション

1. 毒性/薬物動態インシリコ予測システム「ADMEWORKSシリーズ」

「ADMEWORKSシリーズ」は、化学物質や薬物などの安全性と体内における変化を、コンピュータ上で評価するためのシステムです。製薬企業における新薬開発にだけ用いられるのではなく、動物実験代替法への関心が高まっていることもあり、化学メーカーや化粧品メーカーでもご利用いただいております。搭載しているAMES変異原性予測モデルは、ICH M7ガイドラインにおけるin silico予測にも対応しています。

2. 薬物代謝酵素P450/トランスポータに関するデータベース「ADME Database」

「ADME Database」は、クロアチアのレンディック博士^(注1)が、文献から収集したヒトの薬物動態関連たんぱく質・薬物の情報^(注2)データベースです。薬物の吸収、分布、代謝、排泄に関わるチトクロームP450^(注3)、その他の薬物代謝酵素と薬物トランスポータ^(注4)情報を収載しています。

3. 薬物体内動態シミュレーションソフト「DDI Simulator」

「DDI Simulator」は、薬物の併用投与時に薬効・副作用発現の変動を引き起こしうる薬物相互作用の程度を、体内動態パラメーターの情報に基づき、基質薬物の挙動について生理学的モデルを用いて予測するソフトウェアです。薬物相互作用の影響を考慮した投与スケジュールの最適化にもご利用いただけます。

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

用語説明

- 注1 レンディック博士:
レンディック博士は、薬物動態分野の著名な研究者です。
- 注2 薬物動態関連たんぱく質・薬物の情報:
投与された薬物が作用発現部位に到達する過程における、吸収、分布、代謝、排泄などに関連するたんぱく質情報です。
- 注3 チトクロームP450:
薬物を体外に排泄されやすい形に代謝する酵素です。
- 注4 トランスポータ:
トランスポータ薬物を輸送するたんぱく質です。

関連リンク

- 毒性/薬物動態インシリコ予測システム「ADMEWORKSシリーズ」
- 薬物代謝酵素P450/トランスポータに関するデータベース「ADME Database」
- 薬物体内動態シミュレーションソフト「DDI Simulator」

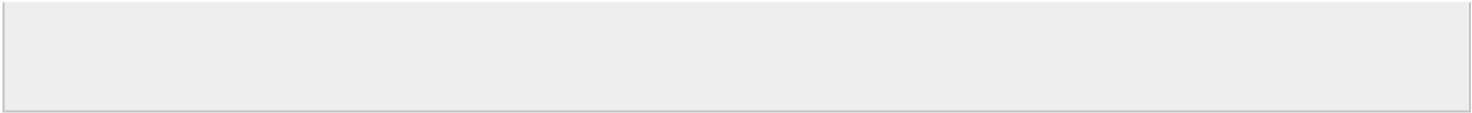
本件に関するお問い合わせ

お問い合わせ

富士通株式会社 ソーシャルデザイン事業本部 デジタルラボ事業部



お電話・メールでのお問合せ（富士通サイトへ）



プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)



ホーム > お知らせ > プレスリリース > 2018年 > (株)富士通九州システムズ 役員人事について

PRESS RELEASE

2018年6月28日

株式会社富士通九州システムズ

(株)富士通九州システムズ 役員人事について

本日6月28日の第37回定時株主総会ならびに取締役会において、役員体制を下記のとおりといたしましたのでお知らせいたします。

つきましては、下記陣容をもちまして業務に精励いたす所存でございますので、何卒倍旧のご支援とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

記

取締役・監査役体制

代表取締役社長 〔重任〕	松井 和男	
取締役〔重任〕	木脇 秀己	(富士通(株)執行役員常務)
取締役〔重任〕	砂田 敬之	(富士通(株)執行役員)
取締役〔重任〕	岡本 行雄	(富士通(株)西日本営業本部九州支社長)
取締役〔重任〕	矢野 伸二	
取締役〔重任〕	愛川 美文	
監査役〔重任〕	常富 安彦	

以上

本件に関するお問い合わせ

お電話でのお問い合わせ

総務人事本部 総務部



092-260-6200

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

メールでのお問い合わせ

当社へのお問い合わせ



入力フォーム

当社はセキュリティ保護の観点からSSL技術を使用しております

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

コンテンツ利用条件

個人情報保護ポリシーについて

商標について

お問い合わせ



[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#) > 2018年 >

第18回国際薬理学・臨床薬理学会議(WCP2018)へ薬物相互作用予測ソフトを出展

PRESS RELEASE

2018年6月20日

株式会社富士通九州システムズ

第18回国際薬理学・臨床薬理学会議(WCP2018)へ 薬物相互作用予測ソフトを出展

当社は、7月2日（月曜日）から7月5日（木曜日）にかけて開催される第18回国際薬理学・臨床薬理学会議（WCP2018）に薬物相互作用予測ソフトの出展をします。

本年の学術総会では、「Pharmacology for the Future — Science, Drug Development and Therapeutics—」を年会テーマとして開催されます。

当社ブースでは、薬物併用時の薬物相互作用を予測する「DDI Simulator」や薬物動態関連たんぱく質・薬物の相互作用情報を文献から収載した「ADME Database」のほか、薬の毒性・薬物動態予測をおこなう「ADMEWORKSシリーズ」を出展します。プレスリリースを見て事前にご連絡いただいた方には、個別相談会も実施しております。是非、当社ブースまでご来臨賜りますよう、お願い申し上げます。

第18回国際薬理学・臨床薬理学会議


- 期間：2018年7月2日（月曜日）～7月5日（木曜日）

- URL : <http://www.wcp2018.org/JPS/>

当社出展期間

- 7月2日（月曜日）～7月5日（木曜日） 9:00～17:00

会場

- 国立京都国際会館 イベントホール、本館メインロビー内 小間No.9-2
〒606-0001 京都市左京区宝ヶ池
- URL : http://www.icckyo.or.jp/visitor/access/getting_here/（国立京都国際会館 イベントホール | 交通のご案内） 

当社出展ソリューション

1. 薬物体内動態シミュレーションソフト「DDI Simulator」

「DDI Simulator」は、薬物の併用投与時に薬効・副作用発現の変動を引き起こしうる薬物相互作用の程度を、体内動態パラメーターの情報に基づき、基質薬物の挙動について生理学的モデルを用いたシミュレーションで予測するソフトウェアです。

2. 薬物代謝酵素P450/トランスポーターに関するデータベース「ADME Database」

「ADME Database」は、クロアチアのレンディック博士^(注1)が、文献から収集したヒトの薬物動態関連たんぱく質・薬物の情報^(注2)データベースです。薬物の吸収、分布、代謝、排泄に関わるチトクロームP450^(注3)、その他の薬物代謝酵素と薬物トランスポーター^(注4)情報を収載しています。

3. 毒性/薬物動態インシリコ予測システム「ADMEWORKSシリーズ」

「ADMEWORKSシリーズ」は、化学物質や薬物などの安全性と体内における変化を、コンピュータ上で評価するためのシステムです。製薬企業における新薬開発にだけ用いられるのではなく、動物実験代替法への関心が高まっていることもあり、化学メーカーや化粧品メーカーでもご利用いただいております。

4. PhysChem/ADME/Tox予測・評価ソフト「ACD/Percepta」

「ACD/Percepta」は、各種物性、薬物のADME(吸収、分布、代謝、排泄)、および毒性をコンピュータ上で評価するソフトウェアです。吸収に関する物性、分布容積、たんぱく結合、代謝部位、血

中濃度推移等のADME特性、急性毒性、遺伝毒性などを、化合物の構造から得られる情報をもとに予測します。

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

用語説明

注1 レンディック博士:

レンディック博士は、薬物動態分野の著名な研究者です。

注2 薬物動態関連たんぱく質・薬物の情報:

投与された薬物が作用発現部位に到達する過程における、吸収、分布、代謝、排泄などに関連するたんぱく質情報です。

注3 チトクロームP450:

薬物を体外に排泄されやすい形に代謝する酵素です。

注4 トランスポータ:

トランスポータ薬物を輸送するたんぱく質です。

関連リンク

- 薬物体内動態シミュレーションソフト「DDI Simulator」
- 薬物代謝酵素P450/トランスポータに関するデータベース「ADME Database」
- 毒性/薬物動態インシリコ予測システム「ADMEWORKSシリーズ」

PhysChem/ADME/Tox予測・評価ソフト「ACD/Percepta」

本件に関するお問い合わせ

お問い合わせ

富士通株式会社 ソーシャルデザイン事業本部 デジタルラボ事業部



お電話・メールでのお問合せ（富士通サイトへ）

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)



[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#) > 2018年 >

通販に必要な機能をオールインワン！新通販ソリューションを発売開始

PRESS RELEASE

2018年5月25日

株式会社富士通九州システムズ

通販に必要な機能をオールインワン！新通販ソリューションを発売開始 ～通販業務の効率化と、売上アップ・顧客の囲い込みをサポート～

当社は、中小規模企業様向け通販ソリューション「QsConnect通販（キューズコネクトつうはん）」を開発し、2018年5月から販売を開始しました。

当ソリューションは、通販業務に必要な顧客管理、受注管理、販促等の機能を網羅しており、通販業者様の業務効率化や業容拡大をサポートします。

通販業者様の業務に欠かせない顧客管理や受注管理等の基本機能に加え、業者様ごとに異なる業務内容にも柔軟に対応できるよう、ギフト、定期管理、在庫管理、売掛管理など、多数のオプションをご用意しております。

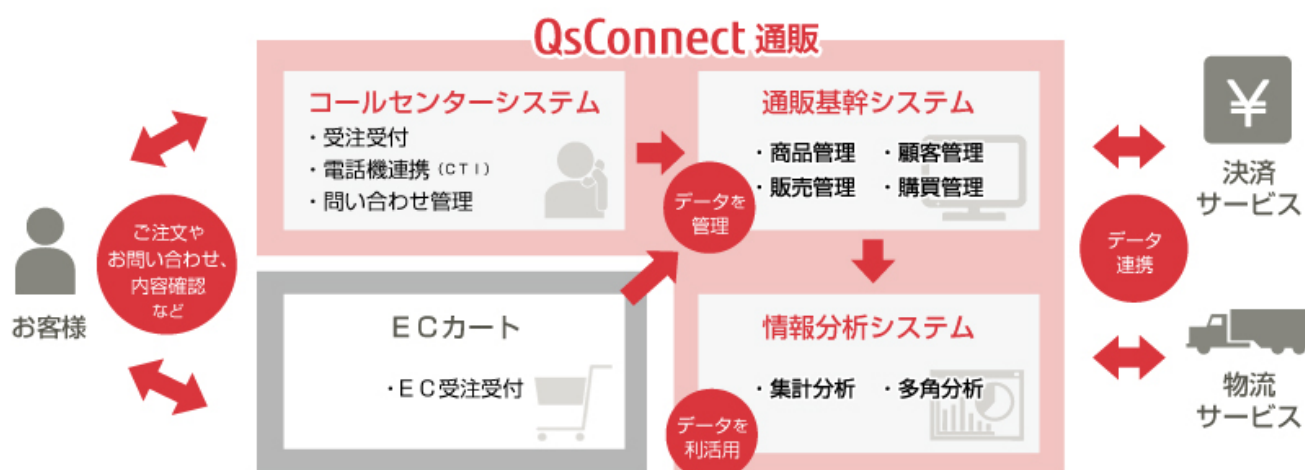
QsConnect通販（キューズコネクトつうはん）

全国の通販市場は堅実に成長し、新規参入も相次いでいます。そのようななか、業容拡大に伴うバツ

クオフィス業務の効率化や、新規顧客の取得、顧客の囲い込みに課題を抱えている中小規模の通販業者様が少なくありません。

当社は、中小規模の通販業者様向けに、通販に必要な機能をトータルで提供できる通販ソリューション製品を開発しました。基本機能に加えて、各種オプション機能が充実しており、単品リピート通販、ギフト通販など様々な業態の業者様に安心してご利用いただけるソリューションとなっております。

受注から商品の発送、債権管理までをトータルでご提供



本製品の特長

- 顧客情報の一元管理でスムーズな対応をサポート
顧客情報を一つの画面から確認できる「顧客モニタ」により、誰が対応してもきめ細やかな接客サービスを提供することができます。
- 柔軟なキャンペーン機能
キャンペーンの「対象」と「効果」を自由に組み合わせることにより、柔軟なキャンペーン設定が可能となります。
- 実践的な分析機能による販売促進
顧客属性に応じた効果的なアプローチを実現する優良顧客育成プログラムを実装しております。

動作環境

- サーバ
 - Windows Server 2016
 - Windows Server 2012
 - Windows Server 2008
 - SQL Server 2014 (Standard) ※製品にバンドル
 - SQL Server 2008 R2(Standard)
 - CPU Intel® Xeon プロセッサ 2.0GHz以上推奨
 - メモリ 8GB以上必須、16GB以上推奨
- クライアント
 - Windows 10, Windows 8/8.1, Windows 7
 - CPU Intel® Core i3 プロセッサ 2.0GHz以上推奨
 - メモリ 4GB以上必須

関連Webサイト

➤ 「通販ソリューション」紹介サイト

本製品について

本製品は、株式会社システムリサーチの通販パッケージ「Simplex」をベースとしています。


商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ

お電話でのお問い合わせ

産業流通ソリューション本部 第一流通ソリューション部

 092-707-5640

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

メールでのお問い合わせ

QsConnect通販に関するお問い合わせ

 [入力フォーム](#)

当社はセキュリティ保護の観点からSSL技術を使用しております

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)



ホーム > お知らせ > プレスリリース > 2018年 > トイレの混雑緩和・看守りサービス「Internet of toilet」に新機能

PRESS RELEASE

2018年5月23日

株式会社富士通九州システムズ

トイレの混雑緩和・看守りサービス「Internet of toilet」に新機能 ～トイレ個室への自動呼びかけ機能を追加～

当社は、トイレの混雑緩和・看守りサービス「Internet of toilet」に、トイレ個室への自動呼びかけ機能を追加し、2018年7月から提供を開始します。

今回のトイレ個室への自動呼びかけ機能により、トイレの長時間利用者に対する異常通知が急病によるものか、効率的に判断したいという企業様の安心・安全に寄与します。

また、自動呼びかけ用装置として、ソニー株式会社(以下、「ソニー」)製のLED電球スピーカーを採用しました。電球を交換するだけで使用でき、工事不要で導入が可能です。

なお、当社では、2016年5月から本社オフィスにおける実証実験をおこなっており、個室への自動呼びかけ機能により、急病人かどうかを管理部門が効率的に判断できるため、トイレに駆けつけるなどの急病人対応回数の減少等の効果が期待できることを確認しています。

製品名

- Internet of toilet

新機能：トイレ個室への自動呼びかけ機能

従来は、長時間利用および個室に設置された緊急通報ボタンを押下することで、パトランプが点灯して管理部門へ異常を通知していましたが、今回、ソニー製LED電球スピーカーを設置し、トイレの長時間利用者に自動音声で呼びかける機能を追加いたしました。

また、体調に問題がない場合は、個室に設置したリセットボタンを押すことで緊急通報をキャンセルできる機能もあわせて追加しています。



提供開始

- 2018年7月より新機能の提供開始

価格

- 個別見積

関連リンク

- Internet of toilet トイレ混雑緩和・看守リサービス

当社は、これまで培ってきた様々な業種・業務ノウハウを、インテグレーションコンセプト「FUJITSU Knowledge Integration」に基づいたサービスとして提供していきます。

なお、「FUJITSU Knowledge Integration」は、インテグレーションサービスにおいて富士通のブランドプロミスである「shaping tomorrow with you」を具体化するコンセプトです。


商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ

お電話でのお問い合わせ


未来社会ソリューション本部 デジタルサービス開発部

 092-260-6212

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

メールでのお問い合わせ

Internet of toiletに関するお問い合わせ

 入力フォーム

当社はセキュリティ保護の観点からSSL技術を使用しております

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)



ホーム > お知らせ > プレスリリース > 2018年 > 日本TDM学会へ薬物相互作用予測ソフトを出展

PRESS RELEASE

2018年5月16日

株式会社富士通九州システムズ

日本TDM学会へ薬物相互作用予測ソフトを出展

当社は、5月26日（土曜日）から27日（日曜日）にかけて開催される第35回日本TDM学会・学術大会に薬物相互作用予測ソフトウェアを出展します。

本年の日本TDM学会では、「サイエンスに基づいたTDMの新展開」を大会テーマに掲げ、さらなるTDM^(注1)の発展に繋がることを期待して、講演・シンポジウム・ワークショップ等がおこなわれます。

当社ブースでは、薬物治療の最適化技術の一つとして薬物併用時の薬物相互作用を予測する「DDI Simulator」のほか、薬物代謝酵素・トランスポーター・薬物の相互作用情報を文献から収載した「ADME Database」も出展します。

プレスリリースを見て事前にご連絡いただいた方には、個別相談会も実施しております。是非、当社ブースまでご来臨賜りますよう、お願い申し上げます。


第35回日本TDM学会・学術大会

- 期間：2018年5月26日（土曜日）～5月27日（日曜日）
- URL <http://www.tdm35.org/index.html>

当社出展期間

- 5月26日（土曜日） 9時～17時
- 5月27日（日曜日） 9時～16時

会場

- 九州大学医学部 百年講堂 / 同窓会館 小間No.2
〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1
- URL : <http://www.med.kyushu-u.ac.jp/100ko-do/access/index.html> 

当社出展ソリューション

1. 薬物相互作用予測ソフトウェア「DDI Simulator」

「DDI Simulator」は、薬物の併用投与時に薬効・副作用発現の変動を引き起こしうる薬物相互作用の程度を、体内動態パラメーターの情報に基づき、基質薬物の挙動について生理学的モデルを用いて予測するソフトウェアです。薬物相互作用の影響を考慮した投与スケジュールの最適化にもご利用いただけます。

2. 毒性/薬物動態インシリコ予測システム「ADMEWORKSシリーズ」

「ADMEWORKSシリーズ」は、化学物質や薬物などの安全性と体内における変化を、コンピュータ上で評価するためのシステムです。製薬企業における新薬開発にだけ用いられるのではなく、動物実験代替法への関心が高まっていることもあり、化学メーカーや化粧品メーカーでもご利用いただいております。

3. 薬物代謝酵素P450/トランスポータに関するデータベース「ADME Database」

「ADME Database」は、クロアチアのレンディック博士^(注2)が、文献から収集したヒトの薬物動態関連たんぱく質・薬物の情報^(注3)データベースです。薬物の吸収、分布、代謝、排泄に関わるチトクロームP450^(注4)、その他の薬物代謝酵素と薬物トランスポータ^(注5)情報を収載しています。

用語説明

注1 TDM：

Therapeutic Drug Monitoringの略で、治療効果や副作用に関する様々な因子をモニタリングしながらそれぞれの患者に個別化した薬物投与をおこなうことです。

注2 レンディック博士：

レンディック博士は、薬物動態分野の著名な研究者です。

注3 薬物動態関連たんぱく質・薬物の情報：

投与された薬物が作用発現部位に到達する過程における、吸収、分布、代謝、排泄などに関連するたんぱく質情報です。

注4 チトクロームP450：

薬物を体外に排泄されやすい形に代謝する酵素です。

注5 トランスポータ：

薬物を輸送するたんぱく質です。

関連リンク

➤ 各製品について

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ

お問い合わせ

富士通株式会社 ソーシャルデザイン事業本部 デジタルラボ事業部



お電話・メールでのお問合せ（富士通サイトへ）

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU



ホーム > お知らせ > プレスリリース > 2018年 >

JECA FAIR 2018 ～第66回電設工業展～にスマート安全帯ソリューションを出展

PRESS RELEASE

2018年5月14日

株式会社富士通九州システムズ

JECA FAIR 2018 ～第66回電設工業展～にスマート安全帯ソリューションを出展


当社は、5月23日（水）から25日（金）にかけて開催される JECA FAIR 2018 ～第66回電設工業展～（注1）において、藤井電工株式会社（本社：兵庫県加東市、代表取締役：藤井信孝、以下「藤井電工」）の展示ブースでスマート安全帯ソリューションを共同出展いたします。

電設工業展は「電気設備に関する資機材、工具・計測器、ソフト、システム等の新製品紹介を始め、施工技術や施工実績、アカデミックの紹介、電気設備業界の魅力や働き方などを紹介する各種イベントなど、あらゆる情報を発信する国内最大の電気設備総合展示会です。

藤井電工ブースでは、実際にスマート安全帯（注2）を着用した展示員によるアラート実演、管理者向けダッシュボード画面などを体験していただけます。是非、ご来臨賜りますよう、お願い申し上げます。

電設工業展

- 期間：2018年5月23日（水曜日）～5月25日（金曜日）

- URL： <http://www.jecafair.jp/2018/>
- 会場： [インテックス大阪 3・4・5号館（大阪市住之江区南港北1-5-102）](#) 

スマート安全帯ソリューション

スマート安全帯ソリューションは、高所作業者が着用したスマート安全帯の使用状況をクラウド上で収集・管理し、危険状態にあることを管理者にアラート通知します。作業現場だけでなく遠隔地でも作業者の状態を把握することで安全管理をサポートするソリューションです。

スマート安全帯ソリューションを活用することで、従来、人の注意力に頼ってきた安全管理に対し、ICTによる作業部門の見える化と作業員の安全確保を実現するとともに、墜落や転落による重篤な労働災害の未然防止、安全教育での活用等、新たな価値を提供します。

用語説明

注1 電設工業展：
一般社団法人 日本電設工業協会が主催する展示会

注2 スマート安全帯：
藤井電工製のBluetooth Low Energy（BLE）モジュール・センサ付き安全帯（イプロンII）

関連リンク

➤ [2018年4月24日 スマート安全帯ソリューションを発売開始（プレスリリース）](#)


商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ

お電話によるお問い合わせ

エンジニアリングソリューション本部 デジタルシミュレーション部

 092-260-6223

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

メールでのお問い合わせ

スマート安全帯ソリューションに関するお問い合わせ

 [入力フォーム](#)

当社はセキュリティ保護の観点からSSL技術を使用しております

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)



[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#) > 2018年 >

化学物質管理ミーティング2018にクラウド型の安全性データシート作成支援サービス「ezSDS」を出展

PRESS RELEASE

2018年4月26日

株式会社富士通九州システムズ


化学物質管理ミーティング2018にクラウド型の安全性データシート作成支援サービス「ezSDS」を出展

当社は、5月17日（木）～18日（金）に開催される『化学物質管理ミーティング2018』に、日本ケミカルデータベース株式会社（JCDB）と共同開発した、クラウド型の安全性データシート作成支援サービス「ezSDS」を出展します。本サービスは、最新の化学物質データベース（30法規）情報を搭載しており、2017年度の追加改修機能により「外国語（英語）変換機能」および「GHS分類ツール対応」を標準機能として提供しています。

今回で第4回目を迎える『化学物質管理ミーティング2018』は、化学物質を適正に管理するためのツールやサービスを提供する事業者と化学物質管理で悩みを抱える事業者の双方を結びつける、国内唯一の情報交流展であり、株式会社化学工業日報社の主催で開催されます。

当日は、共同開発したJCDB社による「海外最新法規情報」および「化学物質管理でのITによる業務自動化の活用」についてのプレゼンテーションを予定しております。

化学物質管理ミーティング2018

- 会期：5月17日（木曜日）～5月18日（金曜日）9時～17時
- 会場：パシフィコ横浜 ホールD （横浜市西区みなとみらい1-1-1）
- URL：<http://www.cdsympo.com/cm2018/> 

プレゼンテーション（プレゼンター：JCDB）

- 5月17日（木）13時15分～、14時～、14時45分～
「東南アジア最新法規情報とJCDB製品のご紹介」
- 5月18日（金）13時15分～、14時～、14時45分～
「中南米最新法規情報と化学物質管理でのITによる業務自動化の活用」

「ezSDS」の特長

1. クラウド型による低価格を実現
クラウド型でSDS^(注1)作成機能を提供しており、投資費用を最小限に抑えることができます。
また、運用費用削減へ貢献できます。
2. 最新の「化学物質データベース」の情報を搭載
本サービスは最新のJISに対応しております。さらに、豊富な化学品情報を独自で持つJCDB社と協業し、最新の「化学物質データベース」を提供するために定期メンテナンスを実施しております。
3. 外国語（英語）変換機能を搭載 **※標準機能追加**
外国語変換機能により、国内向けSDSの英語版が作成可能です。化学物質製品輸出入時の参考情報として、英語訳したSDSを活用できます。
4. **GHS分類ツールの対応** **※標準機能追加**
事業者による混合物のGHS分類の実施を支援することを目的に、経済産業省はGHS混合物分類判定システム（GHS分類ツール）を公開しており、GHS分類ツール独自機能を提供しております。
5. 専用サポート体制による安心な運用支援
ご契約者様専用のezSDSサポート窓口を用意しております。製品操作からSDS作成に関するお問い合わせ全般について、JCDB社と連携したサポート体制で運用を支援いたします。

用語説明

注1 SDS：

Safety Data Sheetの略称。安全データシート。化学品の有害性等に関する情報シートで化学品の取引時に提供し、使用者の安全な取扱いに活用します。

関連リンク

➤ クラウド型SDS作成支援ツール ezSDS

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ

お電話でのお問い合わせ

官公庁ソリューション本部
テクニカルサポートセンター



096-287-2157

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

メールでのお問い合わせ

ezSDSに関するお問い合わせ



入力フォーム

当社はセキュリティ保護の観点からSSL技術を使用しております

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU



[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#) > 2018年 > ソフトウェア構成管理サービス「Q's-Rook」を提供開始

PRESS RELEASE

2018年4月25日

株式会社富士通九州システムズ

ソフトウェア構成管理サービス「Q's-Rook」を提供開始 ～開発資産をクラウド上で一元管理～

当社は、ソフトウェア構成管理サービス「Q's-Rook（キューズルーク）」を販売いたします。本サービスは、開発資産（プログラム・設計書）を一元管理する仕組みをクラウド上で提供し、いつでもすぐに始められ、どこからでも使用できます。

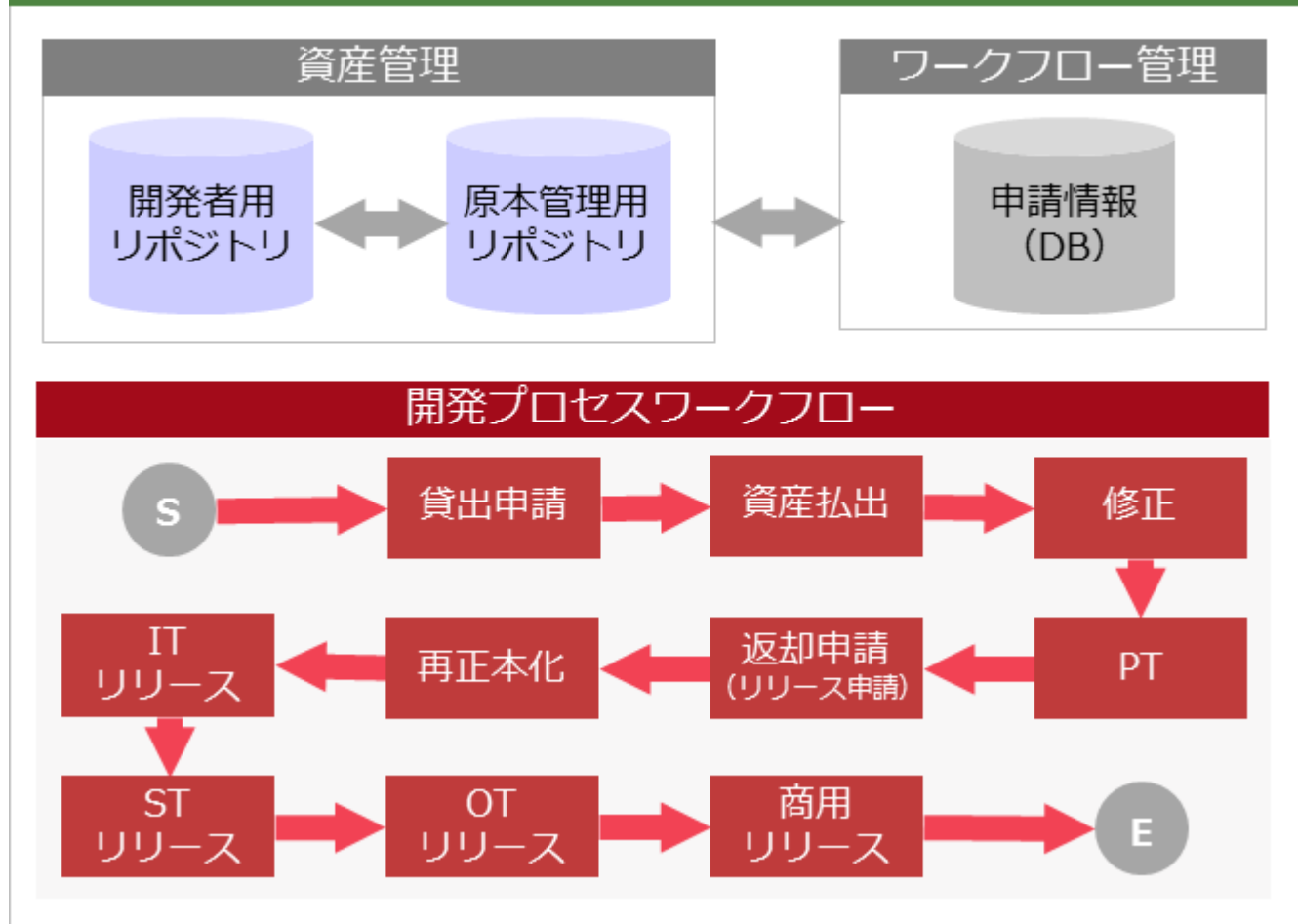
複数の開発ラインとそれぞれの試験環境の「開発資産の面」を保持したり、開発資産の改修からリリースまでの流れを「ワークフロー」で管理することで、構成管理のコストを約60%削減します。

販売に先立ち、2018年5月16日より6月中旬までの期間限定で、先着10ユーザー様に無償でお試し環境を提供いたしますのでご検討ください。

現在、システム開発業界では、オープン化とともに、開発品質の向上が強く望まれています。

本サービスは、構成管理の定常作業をワークフローで管理し、自動化することで属人性の排除と作業精度向上を実現します。導入するだけでロケーションを問わない高品質なシステム開発業務の実現が可能となります。

構成管理サービス／Q's-Rook（キューズルーク）



製品名

- Q's-Rook（キューズルーク）

販売価格

- 19,500円/月より

期間限定無償提供

- 年 月 日 ～ 月中旬（予定）
先着10ユーザ様

導入効果

1. 作業効率／品質の向上

- I. 開発資産情報を管理（効率UP）
全開発資産の所有組織、配布先、環境依存等の付帯情報をデータベースで管理します。
- II. 資産変更手続きの効率化（効率UP、作業品質UP）
リリース申請をシステム化することにより、変更手続きにかかる時間を削減します。
- III. トレーサビリティの確保（効率UP）
いつ、誰が、どんな理由で改修し、いつリリースされたかなどの記録が残ります。
- IV. リリーススピードUPと作業品質向上（効率UP、作業品質UP）
配布資産の作成作業がリリース担当者に依存せず、短時間かつ正確におこなえます。
- V. 改修マージ作業負荷の軽減と精度向上（効率UP、作業品質UP、アプリ品質UP）
先行開発ラインの改修内容を後続開発ラインへ自動的に反映することで、開発者の作業負荷を軽減し、意図しないダウングレードの発生リスクを低減します。

2. コスト削減

本サービスを導入した場合、フリーソフトのバージョン管理ツールを使用した構成管理運用と比べ、関連する作業にかかるコストの 60%程度の削減を見込みます。（当社実績比による）


商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ

お電話によるお問い合わせ

社会ソリューション本部 第四社会基盤ソリューション部

 03-6424-9769

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

メールでのお問い合わせ



入力フォーム

当社はセキュリティ保護の観点からSSL技術を使用しております

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

コンテンツ利用条件

個人情報保護ポリシーについて

商標について

お問い合わせ

富士通ホームへ

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU



ホーム > お知らせ > プレスリリース > 2018年 > スマート安全帯ソリューションを発売開始

PRESS RELEASE

2018年4月24日

株式会社富士通九州システムズ

スマート安全帯ソリューションを発売開始 ～ICT技術による現場の見える化で、高所作業員の労働災害対策を 強化～

当社は、センサ付き安全帯を活用し安全情報の見える化を実現するソリューション「スマート安全帯ソリューション」を、藤井電気株式会社（本社：兵庫県加東市、代表取締役：藤井信孝、以下「藤井電気」）と開発しました。

2018年4月より日本国内の建設業、製造業をはじめ、高所作業を伴う企業様向けにSaaSサービスの販売を開始します。

当社は「スマート安全帯ソリューション」を活用したお客様との実証試験や、富士通グループ内での社内実践を開始し、今後も様々な分野へ展開していきます。

概要

「スマート安全帯ソリューション」は、高所作業員が着用したセンサ付き安全帯^(注1)の使用状況を、作業員の携帯するスマートフォンにインストールした「安全帯アプリ」を用いて、クラウド上で収集・管理します。


管理者はタブレット・PCを用いて「安全管理ダッシュボード」にアクセスし、クラウド上で収集した各作業員のアラート状態を確認します。管理者は、作業現場だけでなく遠隔地でも作業者の状態を把握することが可能です。



スマート安全帯ソリューション概要

本ソリューションでは、従来、人の注意力に頼ってきた高所作業者の安全管理に対し、ICTによる作業現場の見える化を実現するとともに、墜落や転落による重篤な労働災害対策の強化、安全教育での活用等、新たな価値を提供します。

サービス内容および価格

➤ [スマート安全帯ソリューション サービスご紹介ページ](#) 

販売開始

• 2018年4月24日

関連リンク

➤ 2017年5月11日 藤井電工、富士通九州システムズによる スマート安全帯ソリューションの開発につ

いて（プレスリリース）

➤ 2017年10月26日 緑十字展2017にスマート安全帯ソリューションを出展（プレスリリース）

注釈

注1 センサ付き安全帯：

藤井電工製のBluetooth Low Energy（BLE）モジュール・センサ付き安全帯（イプロンII）

特許について

- ・ スマート安全帯ソリューションで採用している作業状態の見える化機能に関し、日本国内で特許出願済みの技術を含みます。

商標について

- ・ 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ

お電話によるお問い合わせ

エンジニアリングソリューション本部 デジタルシミュレーション部



092-260-6223

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

メールでのお問い合わせ

スマート安全带ソリューションに関するお問い合わせ

 入力フォーム

当社はセキュリティ保護の観点からSSL技術を使用しております

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU



PRESS RELEASE

2018年4月11日

株式会社富士通九州システムズ

自治体の危機管理者向け指定外避難所支援SaaSの提供開始

当社は、2018年4月から自治体の危機管理者向けに災害避難者支援サービスの提供および販売を開始します。あわせて一般市民向けには、災害時の助け合いにつながる地域コミュニティスマートフォン用アプリケーション「ツナガル+」の配布を開始します。

大規模災害発生時、住民はやむをえず車中泊や公園等の指定外避難所へ避難する場合があります。一方、自治体の危機管理者からみると、その避難場所／人数／要望内容等を正確に把握することは難しく、また、避難者側からも自治体への要望等の情報を正確に伝えることは困難でした。本避難者支援サービスとスマホアプリを利用することにより、避難者と自治体危機管理者、または避難者同士で双方向からリアルタイムに情報交換がおこなえるようになります。

災害発生時に自治体の危機管理者から指定外避難所避難者への公的支援を効率的におこない、避難者同士でも共に助け合う（自助／共助）ことができるコミュニケーション基盤を提供します。

概要

- ツナガル+（ツナガルプラス）管理者向けサービス
- スマホアプリ ツナガル+（iPhone版、Android版）

主な機能

1. 自治体の危機管理者向けサービス

- 災害モード切替え機能 災害発生時、自治体危機管理者の判断で該当地域に存在するスマホアプリを災害モードへ切り替えます。災害モードになるとスマホアプリ上で指定外避難所が作成でき、その所在が自治体管理者向けに公開されます。
- 避難所管理機能 自治体危機管理者は、地域のどこに、どれだけの指定外避難所があるのか確認し一覧化（図1）できます。この機能は、避難人数/状況/要望等を指定外避難所コミュニティと直接情報交換し確認することができます。また、大規模災害発生時には、管理者に代わりAI（Chatbot）（注1）を活用して基本的な避難所情報を自動的に収集することができます。
- 情報通知機能 特定エリアのアプリ利用者に一斉にテキストメッセージを送信できます。防災無線の代替手段としての利用も期待できます。

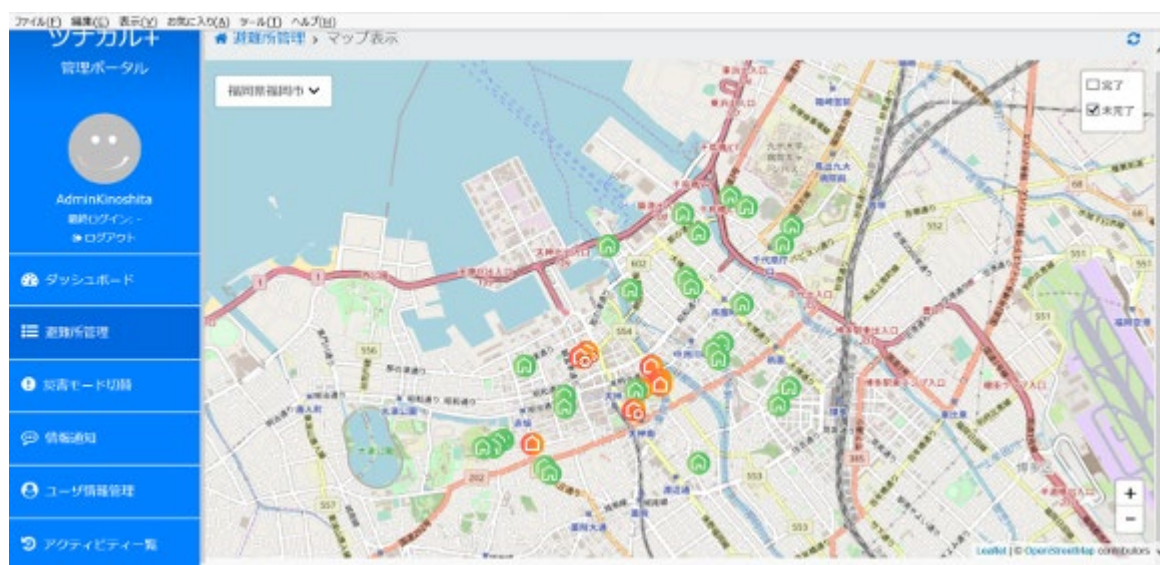


図1 管理者向けサービス画面例

2. 一般市民向けスマホアプリ機能

- コミュニティ機能/周辺投稿機能 自身が現在いる場所を起点としたSNSコミュニティを形成できます。
- 指定外避難所コミュニティ機能 災害モードになると指定外避難所コミュニティを形成することができます。そのコミュニティは自動的に近隣住民や自治体危機管理者へ公開され、支援依頼などをおこなうことが可能となります。（図2）
- 情報受信機能 自治体管理者の指定する地域にいる時に、自治体などからの通知を受け取れます。

す。



図2 スマホアプリ画面例

提供開始時期

- 2018年4月から提供を開始します。福岡市様がご利用を開始します。

価格

- ツナガル+（ツナガルプラス）管理者向けサービス
基本機能無償、一部機能有償（自治体の人口規模により月額ご利用価格が異なります。）

- スマホアプリ ツナガル+（iPhone版、Android版）
無償

動作環境

危機管理者向けサービス

OS：Windows 8.1以降 【32bit/64bit】（日本語）、MacOS：High Sierra以降
ブラウザ：Internet Explorer 11、Chrome最新バージョンの2世代前以降

一般市民向けスマートフォンアプリケーション

Android版 OS：バージョン6以降 iOS版 OS：バージョン10以上
その他：インターネットが利用できる通信環境があること

特許について

- 関連特許出願済

注釈

注1 AI（Chatbot）：
Powered By Microsoft Azure

関連リンク

➤ ツナガル+（ツナガルプラス）サービス紹介ページ

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ

お電話によるお問い合わせ

未来社会ソリューション本部 デジタルサービス開発部



092-260-6212

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

メールでのお問い合わせ

ツナガル+（ツナガルプラス）に関するお問い合わせ



入力フォーム

当社はセキュリティ保護の観点からSSL技術を使用しております

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

コンテンツ利用条件

個人情報保護ポリシーについて

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU



[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#) > 2018年 > [三建産業様に熱流体解析および構造解析ソフトウェアを提供](#)

PRESS RELEASE

2018年4月5日

株式会社富士通九州システムズ

三建産業様に熱流体解析および構造解析ソフトウェアを提供

～見えない熱の流れと現象の「見える化」への挑戦～

工業炉設備のプラントメーカーとして、世界30カ国以上で企画・設計・施工・メンテナンスのエンジニアリングサービスを提供する三建産業株式会社様（本社：広島市安佐南区、代表取締役社長：大田 公生氏）は、設計の3D化や熱流体の解析シミュレーションの内製化を目指し、当社が提供する三次元CAD・iCAD/SX、熱流体解析ソフトウェア・Autodesk CFD、構造解析ソフトウェア・Jupiter -Designer for iCADを導入しました。

3D設計から熱流体・強度構造へと連携する、業界に先がけた自社解析モデルの構築は、複雑なメカニズムの工業炉設計の見える化や品質向上、設計・解析工程のリードタイム短縮、業務効率化を実現。熱応力チェックなど高温炉内の強度解析にも成果を発揮しています。また、3D化を活かした設計技術者の人材育成、解析データという確かな根拠に基づく営業提案・メンテナンス力の強化など、社内の技術力やお客様満足度の向上にも結びついています。

当社は、今後も三建産業様の価値あるものづくりを支えるパートナーとして、より良い提案と支援を続けてまいります。

背景と導入効果

三建産業様は、鉄鋼・アルミ分野を中心に工業炉設備の省エネ・省力・省資源の技術革新の先駆者として業界をリードし、自動車部品生産用のアルミ溶解設備では国内シェアトップを続けるなど、確かな信頼と存在感を誇る「熱のプロフェッショナル」です。

加熱・溶解・冷却など多様なものづくりシーンに欠かせない工業炉は、煉瓦や耐火材の施工形状、強度を保つ鋼材、作業デッキなどが相互に入り組んだ複雑な構造をしています。二次元設計では立体構造を頭の中にイメージし、周辺設備との干渉の有無も経験と勘で導き出すなど「見えない熟練スキル」が必要でしたが、3D設計で「見える化」することで若手の設計技術者も一定レベル以上の仕事が可能になり、スキルアップのスピードも向上しています。

また、熱や流体の動き、輻射熱の見極めなど難解な解析シミュレーションは、従来外部の専門家に委託していましたが、打ち合わせや資料作成など解析以前のリードタイムが必要で費用も高額なため、気軽に利用できないことがネックでした。今回、内製化して自社解析に変えることでお客様にとって本当に必要な解析に絞り込み、いつでも気軽に解析し、より良い選択肢をアウトプットできるようになりました。手計算では難しかった輻射伝熱の相対計数なども、簡単かつ高精度な試算が可能になりました。

これによりお客様への営業提案やメンテナンスのシーンにも、納得と信頼の裏付けとなる解析データの提供が可能になりました。さらに新人・若手の設計技術者のスキル育成ツールにもなっています。

当社の導入サポート

当社は、3D-CADと自社解析の導入・活用に向けて、専門的で高度な解析よりも、設計技術者が簡単に操作できる身近な解析を提案しました。熟練スキルを要する二次元の設計や、難解な熱流体の流速や圧力分布の解析を「見える化」し、電卓代わりに気軽に利用しフレキシブルにアウトプットできる仕組みづくりを支援しました。「複雑で難解」を「見えやすく、わかりやすい」に変えるサポートに高い評価を受けるとともに、設計・解析工程で培ってきた標準図面データなどの技術情報資産の適切な管理についても、提案を進めています。

関連リンク

➤ [三建産業株式会社様 導入事例](#)

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ

お電話によるお問い合わせ

エンジニアリングソリューション本部
エンジニアリングDX推進部



092-260-6229

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

メールでのお問い合わせ

PLMソリューションに関するお問い合わせ



入力フォーム

当社はセキュリティ保護の観点からSSL技術を使用しております

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU



[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#) > 2018年 > **(株) 富士通九州システムズ 役員人事について**

PRESS RELEASE

2018年4月2日

株式会社富士通九州システムズ

(株) 富士通九州システムズ 役員人事について

当社は、2018年4月1日の臨時株主総会ならびに臨時取締役会において役員体制を下記のとおりといたしました。

つきましては、役員一同新たな陣容をもちまして業務に精励いたす所存でございますので、何卒倍旧のご支援とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

記

1.取締役・監査役体制

代表取締役社長

松井 和男

取締役

木脇 秀己

(富士通(株) 執行役員常務)

取締役

砂田 敬之

（富士通（株）執行役員）

取締役

岡本 行雄

（富士通（株）西日本営業本部九州支社長）

取締役

矢野 伸二

取締役

愛川 美文

監査役

常富 安彦

なお、前取締役 執行役員常務 園田 武治は、富士通（株）グローバルサービスインテグレーション部門パブリックサービスビジネスグループマネジメントセンター エリアディレクターに就任いたしました。また、前顧問 黒田 高史は、退任いたしました。

2.執行役員体制

執行役員社長

松井 和男

執行役員常務

矢野 伸二

エンタープライズビジネス担当

執行役員常務

愛川 美文

社会インフラビジネスならびにGDC推進担当

執行役員

大島 昭

セキュリティ&ソーシングソリューション本部担当

執行役員

淡浪 日出夫

事業戦略本部ならびにグローバルビジネス推進担当

執行役員（新任）

高濱 浩司

デジタルビジネス創出担当

執行役員（新任）

鶴川 直秀

総務人事本部ならびに品質保証本部担当

執行役員（新任）

釘本 克也

社会ソリューション本部担当

なお、前執行役員 小田 均は、当社顧問に就任いたしました。また、前執行役員 本橋 敦彦は、エデュケーションITサービス（株） 代表取締役社長に、前執行役員 鈴木 正司は、（株）富士通エフサス 常務理事に就任いたしました。

以上

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ

お電話でのお問い合わせ

総務人事本部 総務部



092-260-6200

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

メールでのお問い合わせ

当社へのお問い合わせ



入力フォーム

当社はセキュリティ保護の観点からSSL技術を使用しております

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)



[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#) > 2018年 > [ホテル業界向け新AIサービスをいちご株式会社と共創](#)

PRESS RELEASE

2018年3月29日

株式会社富士通九州システムズ

ホテル業界向け新AIサービスをいちご株式会社と 共創

当社は、ホテル事業において、AI（人工知能）技術や、IoT（Internet of Things）を活用した新たなビジネス創出に向け、いちご株式会社とソリューションを共創することで合意しました。

本合意より、宿泊業界のお客様を主たる対象として、当社の保有するビッグデータと、いちご株式会社が保有するレベニューマネジメント^{（注1）}スキルを活用し、IoTを用いてホテルの収益拡大および経営効率に寄与するソリューションの提供を図ります。

当社は、1985年からホテル向け特化ビジネスに取り組んでいます。全国のホテル・ブライダル・旅館業に「GLOVIA smart ホテル・ブライダル」「GLOVIA smart 旅館」をオンプレミス型、クラウドサービス型の双方で展開しています。

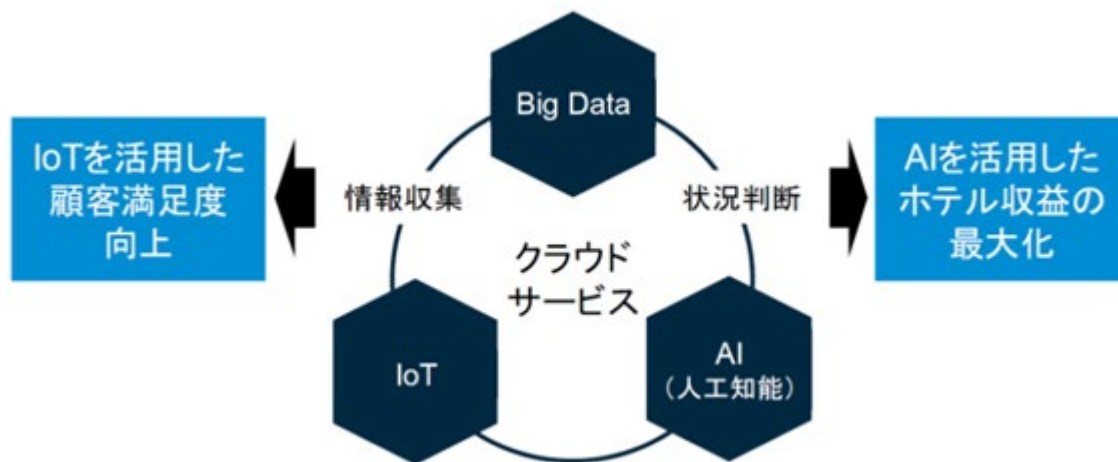
日本のホテル市場は、観光政策の推進に加え、東京五輪開催決定等によるインバウンド需要拡大を背景とし、堅調な成長市場となっています。一方で、さらなる成長を見込んだ新築ホテルの増加等により、各地の競争は激化しています。技術革新や価値観の多様化、社会やビジネス構造の変化に柔軟に対応できるソリューションが求められています。

本計画では、当社といちご（株）の互いの知見を活用し、ホテルの価値向上を目指し、ホテルの収益

向上とホテル利用者の満足度向上を実現するソリューション共創を図ります。

共創ソリューション

1. いちご（株）のレベニューマネジメントシステムと当社のホテルシステムを連携します。
2. 当社のホテルシステムとスマートロック（注2）との連携ソリューションを開発し、いちご（株）が保有もしくは運用するホテルへ展開します。その後、一般販売を検討します。
3. 当社のホテルシステムと自動チェックイン機との連携ソリューションを開発し、いちご（株）が保有もしくは運用するホテルへ展開します。その後、一般販売を検討します。
4. いちご（株）のレベニューマネジメントシステムで生成するデータをAIにより解析し、アルゴリズムを最適化します。これにより、レベニューマネジメントの自動化を図ります。
5. いちご（株）のレベニューマネジメントシステムを当社にOEM提供し、当社から販売します。
6. 当社のホテルシステムをいちご（株）にOEM提供し、いちご（株）から販売します。



本計画の特長

1. ビッグデータの活用

当社のクラウドビジネスにより収集したビッグデータを活用することで、業界の客観的動向を把握できます。このデータを活用することでレベニューマネジメント分析、各種分析をすることができ、ホテル環境を取り巻くミクロ視点、業界マクロ視点での情報比較が可能となります。

2. AIの活用

AI（人工知能）技術の活用を予定しており、これまでの属人的判断から解放され、高度なシミュレーションに基づく多様な分析アプローチが可能となります。

3. IoTによる管理コスト削減を実現

IoTの活用により、チェックイン業務や客室業務を効率化、簡素化し、ホテルスタッフのみならず、利用者の利便性も向上させます。

用語説明

注1 レベニューマネジメント：

在庫を翌日に繰り越せないビジネスにおいて、需要を予測して収入（レベニュー）の最大化を目指し、適切な販売管理をおこなうことです。

注2 スマートロック：

スマートフォン等の機器を用いて客室ドアの開閉・管理をおこなう機器およびシステムです。

関連リンク

＞ いちご株式会社 IR情報 

＞ 当社ホテルソリューションご紹介サイト

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ

お電話によるお問い合わせ

産業流通ソリューション本部 ホテルソリューション部

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

メールでのお問い合わせ

当社へのお問い合わせ

 **入力フォーム**

当社はセキュリティ保護の観点からSSL技術を使用しております

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

コンテンツ利用条件

個人情報保護ポリシーについて

商標について

お問い合わせ

富士通ホームへ

[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#) > 2018年 >

JA三重中央会様にJA総合情報システムの基幹系ソリューション「FREiS NEXT」を提供

PRESS RELEASE

2018年3月29日

株式会社富士通九州システムズ

JA三重中央会様にJA総合情報システムの基幹系ソリューション「FREiS NEXT」を提供 ～JA／組合員サービス向上に向けた、より良い仕組みへ～

このたび、三重県農業協同組合中央会様（三重県津市、会長 谷口 俊二氏、以下JA三重中央会）は、「農業者所得の増大」と「農業生産の拡大」をめざし、県内の組合員の経営と生活や県内12JAの健全な発展を支援するために、JA経済系システムを更改する「次期管理・経済情報システム開発プロジェクト」を推進され、当社が提供するJA総合情報システムの基幹系ソリューション・FREiS NEXTの導入を決めました。2019年1月の本稼働を目指しています。

当社は、JA経済系システムのサポートを10年以上にわたって続けています。このプロジェクトにおいても、JA業務の現場の声を反映した効率化を支援し、画面の操作性改善や新機能の構築を進めています。今後も、組合員や地域になくてはならない存在であるJAグループ様の持続的な発展を支えるパートナーとして、さまざまなソリューションで貢献してまいります。

背景

JA三重中央会様は、食の安全・安心で生命と暮らしを守り、農業の持続的発展と豊かな地域社会の実現を目指す農業協同組合・JAグループの三重県の代表機関であり、指導機関です。「食と農」を基軸

に、助け合いのJA運動を推進する土台となる経済事業には、事業拡大に役立つ情報検索・分析をはじめ、データの利活用、統計資料の作成など多岐にわたる機能性が求められます。また、JA職員の操作性や利便性の向上による作業効率化、安定運行、システムコストの圧縮などを持続的にはかることも必要です。

今回のプロジェクトと導入効果

JA経済系システムは、2005年からFREiSドットウェブ（FREiS NEXTの前身）で、三重県内JAの「県統一システム」として運用実績があり、事務の統一化や業務効率化に成果を上げてきました。さらに最適な姿を追求し、将来を見据えた拡張性・信頼性のあるJA経済系の新システムを構築する取り組みが、今回のプロジェクトです。

現在は、①現行システムの業務機能を継承しつつ新機能による業務運用の効率化、②JAの経営判断に役立つ情報検索・分析やデータの利活用、③情報システムの最適化によるコスト削減を実現する取り組みを進めています。

また、外部監査への対応や内部統制の強化、情報データの活用によるJA／組合員サービスの向上など、次代に向けて新しい仕組みに変えることで「JAグループ三重県モデル」の確立へと着実に歩みを進めています。今後は販売系システムなどの統合やデータ連携機能強化を視野に入れています。

関連リンク

➤ [JA三重中央会様 導入事例](#)

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ

富士通株式会社

文教・地域ソリューション事業本部 第二ソリューション事業部 第二ソリューション部



092-260-6216

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU



[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#) > 2018年 > **JA事業継続対策やIT統制を強化した次世代型システムを構築**

PRESS RELEASE

2018年3月29日

株式会社富士通九州システムズ

JA事業継続対策やIT統制を強化した次世代型システムを構築

当社は、このたび長崎県JAグループの長崎県農業協同組合中央会様（以下、JA長崎県中央会）向けに、基幹系システム全般に対応した「JAグループ様向け農業ソリューション」の第三次システムを構築しました。

このソリューションは、2006年に初導入され、2018年1月に第三次システムが稼働しました。今回のシステム構築では、サーバの2センター化をはじめとする大規模な変革に踏み切り、ITBCP^{（注1）}対策、IT統制全般の強化などの効果を発揮。将来を見据えた拡張性、信頼性のある次世代型システムとなっています。

背景と課題

JA長崎県中央会様では、長崎県内の6JAで個別におこなわれていた業務のシステムを2006年から「JAグループ様向け農業ソリューション」によって集約しましたが、同一施設内にある2サーバで多くのシステムを運用しており、ITBCPの観点で脆弱でした。

また、2019年からの公認会計士監査制度への対応も踏まえ、IT統制全般の強化を図ることも喫緊の課

題。そこで、第三次システム構築となる今回は、単純な機器更改に留まらず、全国のJAでも先行例となる大規模なシステム構築をおこないました。

今回のプロジェクトと導入効果

今回のシステム構築では、地理的に異なる2拠点（福岡・長崎）にサーバを配置して2センターによるITBCP対策を強化しました。さらに費用対効果を考慮して、片方のサーバをバックアップに特化させるのではなく、平時でも2サーバを有効活用させる方式を採択。有事の際には1時間程度での復旧を保証し、組合員、員外顧客へのサービス提供・事業継続が可能となっています。また、既に福岡のセンターは無人化され、リモートコントロールで操作していますが、異常があった際にはセキュリティ対策を施したインターネット経由で外部から対応できる仕組みを構築。今後は、職員の働き方改革にも寄与させる予定です。

IT統制強化の面では、県内6JAで働く数千名の職員の静脈を登録し、認証端末を430台導入。システム利用者がID、パスワードを使わずにシステム運用する方式へと切り替えました。利用者にとってはID、パスワードを打ち込む手間が省け、なりすまし防止などのセキュリティ面でも高い効果を発揮しています。

また、今後の組織再編を踏まえた対策にも着手。これまでは2サーバでそれぞれ異なる3JAのシステムを運用し、複数のサーバに6JAのデータがまたがった状態となっていたましたが、それを解消させました。組織再編の際にシステムが障壁とならないよう、今後に変化へのスピーディーな対応に努めていく方針です。

本製品の特長

JAグループに特化したソリューションサービスとして、農業資材・生活用品を供給する購買事業、農産物の集荷・出荷・精算管理をおこなう販売事業、財務会計や経営データ分析など、基幹系システム全般に対応。各ソリューションを連携させることにより、組合員へのサービス向上やJAの事業に貢献します。

用語説明

注1 ITBCP：

関連リンク

➤ [JA長崎県中央会様 導入事例](#)

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ

富士通株式会社

文教・地域ソリューション事業本部 第二ソリューション事業部 第二ソリューション部



092-260-6216

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU



ホーム > お知らせ > プレスリリース > 2018年 > ADME Database バージョン50を発売開始

PRESS RELEASE

2018年3月27日

株式会社富士通九州システムズ

ADME Database バージョン50を発売開始

当社は、2018年4月2日（月曜日）よりADME Database バージョン50を発売いたします。

医薬品開発のスピードアップが望まれる昨今、医薬品候補化合物の発見から、臨床に至るまで長期間を必要とする現状があります。このようななかで、医薬品開発において重要となる、薬物代謝に関する文献が数多く発表されており、その文献から目的とする情報を収集するために多大な手間と時間がかかっています。ADME Databaseは非臨床の薬物代謝を中心にデータを収載しており、Webブラウザからキーワードや化学構造を入力することで、効率的に目的とする情報を収集することができます。

今回は、約260件の文献から約1,500件の非臨床薬物代謝データ（注1）と、約90件の臨床薬物相互作用データを追加しました。

ADME Databaseは、クロアチアのレンディック博士（注2）が文献から収集したヒトの薬物動態関連たんぱく質・薬物の情報（注3）を中心としたデータベースです。主に製薬企業における新薬開発、および大学教育の分野でご利用いただいています。

ADME Database バージョン50

- 製品名
ADME Database バージョン50
- 特長
ヒトの薬物代謝酵素に特化したデータベース：
ヒトの主要な薬物代謝酵素（チトクロームP450）を中心に、約 129,000 件の試験管内実験のデータを収載しています。
キーワードや構造による検索：
検索は、キーワード選択のみで行う方法と、複雑な条件を入力して行う方法とがあります。薬物とその代謝物に対して、部分構造や類似構造を検索することも可能です。
臨床薬物相互作用検索：
ADME Databaseに収載された臨床薬物相互作用データをキーワードや構造で検索することが可能です。
- 発売日
2018年4月2日（月曜日）
- 価格
企業／国公立研究機関向け（同時アクセス数 10）：
 - 全データベースパックA（注4）：1,620,000円／年（税込）
 - 全データベースパックB（注5）：1,944,000円／年（税込）教育機関向け：
 - 全データベースパックA（注4）：
研究室ライセンス（同時アクセス数 1）：270,000円／年（税込）
サイトライセンス（同時アクセス数 50）：810,000円／年（税込）
- 販売目標
1年間に30契約を目標とします。

用語説明

注1 非臨床薬物代謝データ：
試験管内実験の薬物代謝酵素に関する情報です。

注2 レンディック博士：
Dr. Slobodan Rendicは、薬物動態分野の著名な研究者です。

注3 薬物動態関連たんぱく質・薬物の情報：
投与された薬物が作用発現部位に到達する過程における、吸収、分布、代謝、排泄などに関連するたんぱく質情報です。

注4 全データベースパックA：

注5 全データベースパックB:

全データベースパックA+臨床薬物相互作用データベース

関連リンク

➤ [ADME Database紹介サイト](#)

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ

お問い合わせ

富士通株式会社 ソーシャルデザイン事業本部 デジタルラボ事業部



お電話・メールでのお問合せ（富士通サイトへ）

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU

[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#) > 2018年 > [IT経験ゼロでも配属先で活躍できる新人教育](#)

PRESS RELEASE

2018年3月14日

株式会社富士通九州システムズ

IT経験ゼロでも配属先で活躍できる新人教育 ～ミスマッチによる離職者を大幅に減少～

株式会社アイネット様（本社：横浜市西区、代表取締役社長：梶本 繁昌氏、以下：アイネット様）は、IT研修に当社の新人研修プログラムを導入しました。過去のノウハウをもとに、毎年更新される研修を通じてミスマッチによる離職者を減らし、SEおよび営業や業務職も含めた人材育成に貢献しています。

アイネット様は、ガソリンスタンド・石油業界から、データセンターやクラウドなども利用し、幅広い業種業態のシステム開発・保守・運用を手がけています。毎年、文系を含めたさまざまな学部学科出身の新入社員が増加するなかで、研修終了後に全員が同じスタートラインに立てる教育を課題としていました。約10年前から研修の充実をはかるとともに、今後も新しい研修の確立をすすめていきます。

背景と導入効果

アイネット様は入社後半年間を「新人研修期間」とするなど、新人研修に力を入れている企業として知られています。さまざまな学部学科出身者が入社し、文系出身者も半数近くを占めるなかでも、配属後は当たり前のようにIT知識を活用できることをめざしてプログラムを組んでいます。

現状の研修制度が確立したのは約10年前です。以前は業務自体がSE中心で技術系中心の採用でしたが、業務とサービスの拡大で営業職やその他の職種に興味を持った若手も必要になり、IT未経験者の採用が増えました。一方、営業職やその他の職種への配属も増える中で、ITへの理解がないとお客様に質の高い提案ができないことから、当社のIT研修を採用されました。一般に、教育研修はパッケージ化されていて柔軟性がないケースがほとんどですが、アイネット様は当社の柔軟なカスタマイズ対応を評価されました。

IT技術研修を含め、充実した研修を通じて業務を深く理解し、知識、技術を身につけていくことで、ミスマッチが大幅に減少し、一般に入社3年で3割が退職するといわれるなかで、アイネット様の離職率は1割以下になっています。

今後の展開

約10年をかけて積み上げてきたアイネット様の研修ですが、毎年、入社する新人は異なることから、今までの経験を活かしながら、今後も新しい研修の確立を進めていく方針です。

本サービスの特長

新入研修（IT研修）では、業務に必要な社会人基礎力と「SE等の技術職」として活躍する際、必須となる知識を演習、実習を通して修得できます。また、受講者の研修報告書を通して理解度チェックをするなど個別指導を徹底します。研修の中間期、終了後に各受講者の行動面、スキル面の報告など、きめ細かなフィードバックをおこないます。

関連リンク

➤ [株式会社アイネット様 導入事例](#)


商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ

お電話によるお問い合わせ

セキュリティ&ソーシングソリューション本部 ラーニングソリューション部

 03-6424-9928

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

メールでのお問い合わせ

当社へのお問い合わせ

 入力フォーム

当社はセキュリティ保護の観点からSSL技術を使用しております

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

コンテンツ利用条件

個人情報保護ポリシーについて

商標について

お問い合わせ



ホーム > お知らせ > プレスリリース > 2018年 >

オムニチャネルの顧客管理をサポートする「QsConnect顧客管理」を発売

PRESS RELEASE

2018年3月12日

株式会社富士通九州システムズ

オムニチャネルの顧客管理をサポートする 「QsConnect顧客管理」を発売

当社はこれまで培ってきた顧客管理システムの技術やノウハウを活かし、新たな顧客管理サービスとして「QsConnect顧客管理」を発売します。本サービスは、ポイント・電子マネーのSaaSベンダであるアララ株式会社の店舗向け販促パッケージ「point+plus」と連携して顧客管理のトータルプロセスをサポートするサービスです。

オムニチャネルへの対応が急速に普及している昨今において、「point+plus」及び本製品を活用することで、顧客IDの一元管理、ポイントや電子マネー機能、お客様向けのマイページ機能、オムニチャネルに対応した分析機能、メール、DMによる販促機能を提供します。



当社では、オムニチャネル化への対応や、ポイント・電子マネーの導入により、顧客管理や販促を強化したいといった、お客様のニーズに対応し、新たな顧客管理サービスの提供をおこないます。

現在、スマートフォンの普及により、お客様の購買行動はネットを絡めて複雑化を極めています。これまで、インターネットでの販売やオムニチャネルに無縁だった業種・業界でも、これらの流れに対応せざるを得ない状況です。これらを踏まえ、当社では、実績があり、かつ、最適なコストで企業のオムニチャネル化への対応を支援するため、ポイント・電子マネー事業で実績のあるアララ株式会社が提供する店舗向け販促パッケージ「point+plus」と連携した新ソリューション「QsConnect顧客管理」を提供することとしました。

本サービスは、「point+plus」と連携することで、オムニチャネル化を実現するために必要な顧客IDの一元管理、ポイントや電子マネー機能、お客様向けのマイページ機能、オムニチャネルに対応した分析機能、メール、DMによる販促機能の提供が可能になります。お客様のオムニチャネル化への対応において、本サービスだけでシンプルに解決することができます。

サービス名

「QsConnect（キューズコネクト）顧客管理」

出荷時期

3月15日

販売目標

国内において今後3年間で、50社への販売を計画。

本製品の特長

1. ポイント・電子マネーサービス「**point+plus**」との標準連携
アララ株式会社の店舗向け販促パッケージ「point+plus」に蓄積した会員の様々な取引情報を本製品が取り込み、各種分析や販促に活用することができます。
2. オムニチャネル対応のデシル分析・RFM分析を提供
難しい設定不要で簡単にデシル分析・RFM分析の機能がご利用できます。
また、注目機能として、各分析結果を購買チャネルにより深掘りすることが可能です。
これにより、オムニチャネル化実現に向けたより具体的な販促アクションが可能となります。
3. 分析結果をそのまま販促に活用
デシル分析・RFM分析の結果を選択することで、すぐに販促作業に移ることができます。
お客様の販促活動をよりスムーズにします。

関連リンク

- アララ社 店舗向け販促パッケージ「point+plus」
<https://pointplus.jp/>


商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ

お電話によるお問い合わせ

産業流通ソリューション本部 第一流通ソリューション部

 092-707-5640

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

メールでのお問い合わせ

QsConnect顧客管理に関するお問い合わせ

 入力フォーム

当社はセキュリティ保護の観点からSSL技術を使用しております

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU



[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#) > 2018年 > セキュリティの抜け道となる「共連れ」を防ぐシステムを新発売

PRESS RELEASE

2018年3月8日

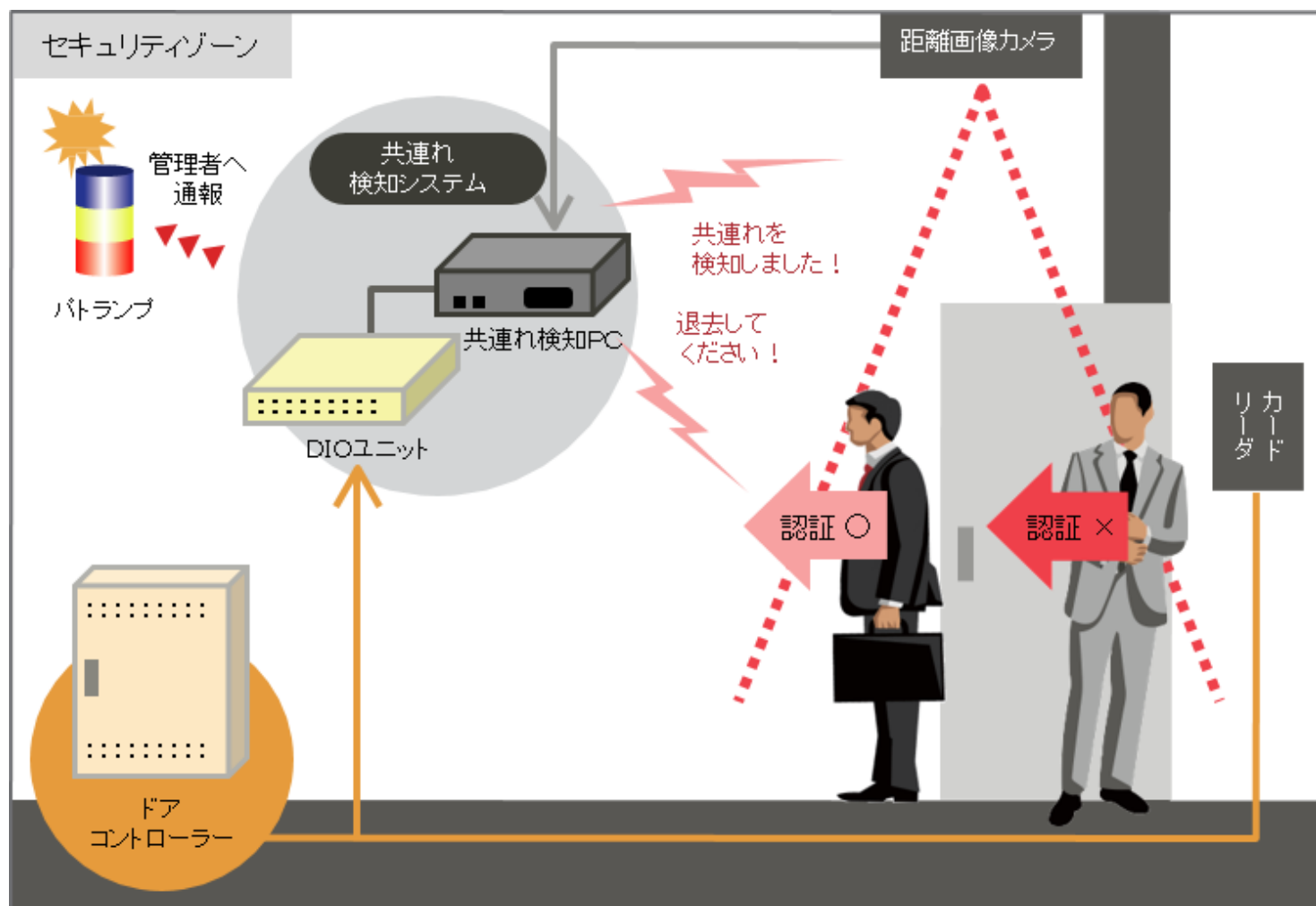
株式会社富士通九州システムズ

セキュリティの抜け道となる「共連れ」を防ぐシステムを新発売

当社は、セキュリティゾーンへの「共連れ」入退室を検知・記録する「共連れ検知システム」を、3月9日より発売します。

ゲートを設置し物理的に一人ずつしか入退室できないようにすることで「共連れ」を防止する方法もありますが、初期導入コストが高額になります。本システムは距離画像カメラを設置しセキュリティドアのコントローラと接続するだけで使用でき、コストを抑えた対策が可能となります。

国内において、今後3年間で100システムの販売を目指します。



当社は、従来から画像認識技術を活用し、施設監視や災害監視などの安心・安全な社会づくりに貢献できる製品を提供しています。

通常、セキュリティゾーンへの入室には、ICカード、指紋、静脈などによる認証を行っていますが、認証を受けていない人が認証された人と共に入退室する「共連れ」はセキュリティの抜け道となります。

本システムは距離画像カメラを使用した画像認識結果と、セキュリティドアの認証情報とを突き合わせて共連れの発生を検知し、現場で音声警告するとともに、遠隔地のパトランプを点灯し管理者へ通報します。また、共連れ発生時の画像の記録・参照も可能です。

製品名

共連れ検知システムV1.0

販売価格（税抜）

1,000,000円

販売開始

2018年3月9日

本製品の特長

1. 共連れ発生検知機能

距離画像カメラを使用し、セキュリティドアの認識情報と照合して共連れの発生を検知し、記録します。

2. 音声警告／通報機能

共連れ検知時に現場（ドア付近）で、音声警告します。

また、遠隔地のパトランプを点灯し、音声により管理者に通知します。

3. 管理機能

現在のカメラ映像や過去に発生した共連れの事象を参照できます。直近10件を表示または日付指定で表示します。

動作環境

- [管理Web/DBサーバ]／[共連れ検知PC]

OS:Microsoft® Windows® 8.1、Windows10 64bit版以降（32bit版では動作しません）

メモリ：4GB以上

CPU：3GHz以上のマルチコアCPU

HDD：100GB以上

- [距離画像カメラ]

Microsoft社 Xbox One Kinect センサー 6L6-00007

- [DIOユニット]

ライフトロン社 フォトカプラ絶縁デジタルI/O DIO-8/8(E)

- [可視カメラ（オプション）]

jpeg静止画像をhttp形式で取得可能なもので解像度はVGA以上

関連リンク

- [共連れ検知システム紹介サイト](#)

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ

お電話でのお問い合わせ

未来社会ソリューション本部 デジタルサービス開発部



097-534-9426

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

メールでのお問い合わせ

当社へのお問い合わせ



入力フォーム

当社はセキュリティ保護の観点からSSL技術を使用しております

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)



ホーム > お知らせ > プレスリリース > 2018年 > 「健康経営優良法人（ホワイト500）」に認定

PRESS RELEASE

2018年3月1日

株式会社富士通九州システムズ

「健康経営優良法人（ホワイト500）」に認定

当社は、グループ会社の富士通九州システムサービス^{（注1）}と共に、経済産業省および日本健康会議^{（注2）}より、社員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組む法人として「健康経営優良法人2018～ホワイト500～」に認定されました。

当社は今後も「心身ともにいきいきと働ける会社づくり」を経営の重要課題のひとつに位置づけ、「富士通グループ健康宣言」に基づき、健康保持・増進に向けた各種施策を推進いたします。

健康経営優良法人認定制度とは

健康経営優良法人認定制度とは、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度。

健康経営に取り組む優良な法人を「見える化」することで、従業員や求職者、関係企業や金融機関などから「従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる法人」として社会的に評価を受けることができる環境を整備することを目標としている。



当社の主な取り組み

1. 充実した健康診断の実施

- 定期健康診断の年2回実施／100%受診の継続
- 要精密検査受診率、要治療開始率100%の継続
- 三大疾病（がん、心疾患、脳疾患）の早期発見、治療を目的とした健康診断の実施

2. メンタルヘルスマネジメントの充実

- メンタルヘルスマネジメント検定試験（ラインケア／セルフケア）資格取得の推進
- eラーニングによるメンタルヘルスマネジメント力の向上

3. 健康リスクの改善および予防を目的とした取り組み

- 単身赴任者を対象とした健康リスクの改善に向けた保健指導の実施
- 将来の健康リスク低減を目的とした若年層への教育、保健指導の実施

用語説明

注1 株式会社富士通九州システムサービス：

本社：福岡県福岡市、代表取締役社長 松井 和男

注2 日本健康会議：

国民一人ひとりの健康寿命延伸と適正な医療について、民間組織が連携し行政の全面的な支援のもと実効的な活動を行うための組織

関連リンク

当社の健康経営の取り組み

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ

お電話でのお問い合わせ

総務人事本部 人事部



092-260-6201

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

メールでのお問い合わせ

当社へのお問い合わせ



入力フォーム

当社はセキュリティ保護の観点からSSL技術を使用しております

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU



[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#) > 2018年 > **JA様独自の会計業務に対応した「財務会計システム」を発売開始**

PRESS RELEASE

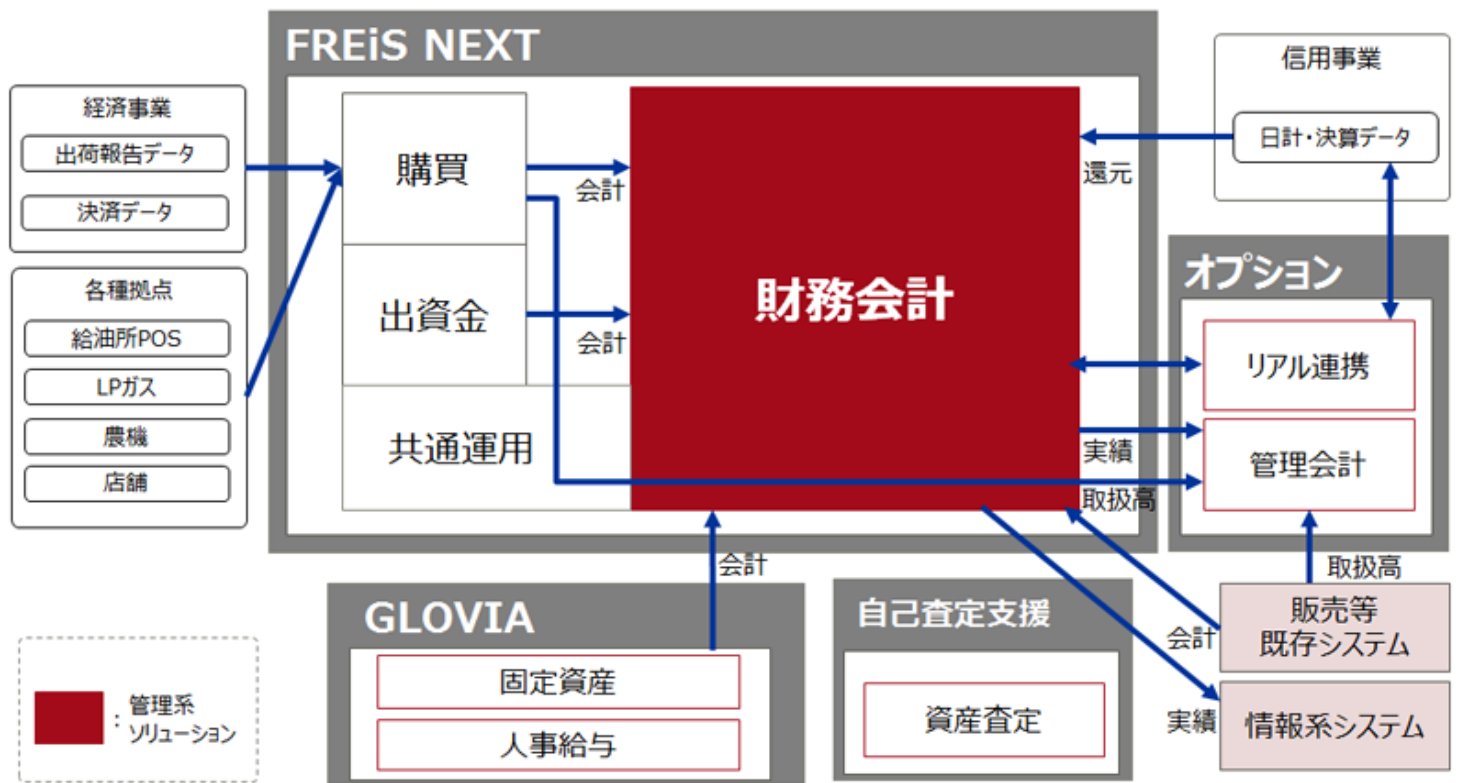
2018年2月26日

株式会社富士通九州システムズ

JA様独自の会計業務に対応した「財務会計システム」を発売開始

当社は、2月1日からJA様向け財務会計システム「FREiS NEXT財務会計」の販売を開始しました。本製品はJA様独自の運用である各種会計帳票や日締^(注1)などの会計業務を確実にサポートし、会計システムに関わる運用コスト削減に寄与いたします。

当社は、本製品をJA経済基幹系システムとして提供中の農林水産ソリューション「FREiS NEXT」^(注2)シリーズの新たなラインアップに位置付けています。法改正・制度改定への確実な対応と低コスト化により、JA様の業務システムとして、より一層のトータルサポートを実現いたします。



2019年9月の農協改正法に伴い、JA様を取り巻く経営環境は今後大きく変わることが想定されます。またシステム維持費用は、経営上の大きな負担となっており、機能的でより安価なシステムが望まれています。

当社は、30年以上にわたるJA経済事業におけるシステムの導入実績および現場での支援作業から得た経験をもとに、今回JA経済基幹系システムとして、低コスト導入／低コスト運用の実現をサポートする「FREiS NEXT財務会計」を提供いたします。常に変化する環境への対応および法改正・制度改定への確実な対応により、JA様の経営改善に貢献するソリューションを提供いたします。

製品名

FREiS NEXT財務会計

販売価格（税抜）

10,000,000円

出荷時期

2018年2月1日

販売目標

国内において今後5年間で、10システムの販売を計画。

本製品の特長

1. JA様独自業務へ対応

- エントリーしやすい入力画面
- 牽制機能（日締、仮勘定運用、支所単位の貸借バランスなど）
- 各種帳票の出力（各決算帳票など）
- 特別会計機能の保有

2. FREiS NEXT基盤の採用

- 従来のFREiS NEXTと同一のシステム方式を採用することで、サーバ、ミドルウェアの共有が可能
- FREiS NEXTと同様の操作性で、統一した画面オペレーションを実現

3. 低コスト化の実現

- 必要機能を絞り込むことで他社ERP会計パッケージと比較して低コスト化を実現

動作環境

● サーバ

Microsoft® Windows® Server2012、SQL-Server

● クライアント

Microsoft® Windows® 10

用語説明


注1 日締：

JA総合事業として信用システムとの連携を考慮した1日の締め処理。当日中の「仮締」と翌日の「本締」機能を有する。

注2 FREiS NEXT：

当社が提供するJA経済基幹系システム（購買／出資金）

関連リンク

➤ 「FREiS NEXT」紹介サイト  （富士通のサイト）

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ

富士通株式会社

文教・地域ソリューション事業本部 第二ソリューション事業部 第二ソリューション部



092-260-6216

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU



[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#) > 2018年 > [近畿国立病院薬剤師会へ薬物相互作用予測ソフトを出展](#)

PRESS RELEASE

2018年2月14日

株式会社富士通九州システムズ

近畿国立病院薬剤師会へ薬物相互作用予測ソフト を出展


当社は、3月3日（土曜日）に開催される近畿国立病院薬剤師会に薬物相互作用予測ソフトを出展します。

近畿国立病院薬剤師会は認定事業委員会、教育研修委員会、臨床研究推進委員会、医薬品安全管理委員会、チーム医療委員会の各委員会へ再編し、研修会や学術集会などを通して病院薬剤師としての資質向上および会員相互の親睦の他、薬学生教育に積極的に取り組まれています。

当社ブースでは、薬物併用時の薬物相互作用を予測する「DDI Simulator」や薬物動態関連たんぱく質・薬物の相互作用情報を文献から収載した「ADME Database」のほか、薬の毒性・薬物動態予測をおこなう「ADMEWORKSシリーズ」を出展します。

プレスリリースを見て事前にご連絡いただいた方には、個別相談会も実施しております。是非、当社ブースまでご来臨賜りますよう、お願い申し上げます。

近畿国立病院薬剤師会

- 出展期間：3月3日（土曜日）10:00～17:00
- URL：<http://www.kinki-snhp.jp/index.htm> 
- 会場：ハイアットリージェンシー大阪
〒559-0034 大阪市住之江区南港北1-13-11

当社出展ソリューション

1. 薬物体内動態シミュレーションソフト「DDI Simulator」

「DDI Simulator」は、薬物の併用投与時に薬効・副作用発現の変動を引き起こしうる薬物相互作用の程度を、体内動態パラメーターの情報に基づき、基質薬物の挙動について生理学的モデルを用いたシミュレーションで予測するソフトウェアです。

2. 薬物代謝酵素P450/トランスポータに関するデータベース「ADME Database」

「ADME Database」は、クロアチアのレンディック博士（注1）が、文献から収集したヒトの薬物動態関連たんぱく質・薬物の情報（注2）データベースです。薬物の吸収、分布、代謝、排泄に関わるチトクロームP450（注3）、その他の薬物代謝酵素と薬物、トランスポータ（注4）情報を収載しています。

3. 毒性/薬物動態インシリコ予測システム「ADMEWORKSシリーズ」

「ADMEWORKSシリーズ」は、化学物質や薬物などの安全性と体内における変化を、コンピュータ上で評価するためのシステムです。製薬企業における新薬開発にだけ用いられるのではなく、動物実験代替法への関心が高まっていることもあり、化学メーカーや化粧品メーカーでもご利用いただいております。

4. PhysChem/ADME/Tox予測・評価ソフト「ACD/Percepta」

「ACD/Percepta」は、各種物性、薬物のADME（吸収、分布、代謝、排泄）、および毒性をコンピュータ上で評価するソフトウェアです。吸収に関する物性、分布容積、たんぱく結合、代謝部位、血中濃度推移等のADME特性、急性毒性、遺伝毒性などを、化合物の構造から得られる情報をもとに予測します。

用語説明

注1 レンディック博士：

レンディック博士は、薬物動態分野の著名な研究者です。

注2 薬物動態関連たんぱく質・薬物の情報：

投与された薬物が作用発現部位に到達する過程における、吸収、分布、代謝、排泄などに関連するたんぱく質情報です。

- 注3 チトクロームP450：
薬物を体外に排泄されやすい形に代謝する酵素です。
- 注4 トランスポータ：
トランスポータ薬物を輸送するたんぱく質です。

関連リンク

➤ [各製品について](#)

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ

お問い合わせ

富士通株式会社 ソーシャルデザイン事業本部 デジタルラボ事業部



お電話・メールでのお問合せ（富士通サイトへ）

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU



[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#) > 2018年 >

宮古島市島嶼型スマートコミュニティ実証事業においてヒートポンプ給湯機制御システムを開発

PRESS RELEASE

2018年2月6日

株式会社富士通九州システムズ

宮古島市島嶼型スマートコミュニティ実証事業においてヒートポンプ給湯機制御システムを開発 ～第42回地球環境とエネルギーの調和展および第8回スマートグリッドEXPOに出展～

当社は、宮古島市島嶼（とうしょ）型スマートコミュニティ実証事業にて、ヒートポンプ式給湯機（以下HP給湯機）制御システムを開発しました。再生可能エネルギーを最大限効率的に利用することを目的とした実証事業において、HP給湯機制御システムは、太陽光発電・蓄電池と連動して電力使用の負荷を制御し、安定した電力供給の手助けをします。

このたび、2月14日（水曜日）から2月16日（金曜日）にかけて開催される「第42回地球環境とエネルギーの調和展」および2月28日（水曜日）から3月2日（金曜日）に開催される「第8回スマートグリッドEXPO」に出展し、HP給湯制御システムの機能や運用イメージをご紹介します。是非、当社ブースまでご来臨賜りますよう、お願い申し上げます。

宮古島市島嶼型スマートコミュニティ実証事業

島内の太陽光発電や風力発電など再生可能エネルギーを最大限効率的に利用することを目的とし、全島の電力需要の状況を明らかにしつつ、家庭や事業所など各需要家における「電力消費の見える化」を行った上で、電力消費の調整が可能な需要の制御などにより、省エネや再生可能エネルギーの最適消費を実現するシステムを構築します。


出展元：宮古島市 プレスリリース 2013年10月1日

http://www.city.miyakojima.lg.jp/gyosei/ecoisland/modeltoshi/tousyo/files/131001_01release_rev.pdf 


HP給湯機制御システム

家庭での電気、熱、ガスなどエネルギー利用を最適化するため、HP式給湯機と、太陽光・蓄電池（他社サービス）を連動し、負荷制御します。高度なスケジューリングをおこなうための電力平準化アルゴリズム（特許出願中）を採用し、電力需要の変動に対応した経済的で安定した供給力の組合せで需要計画を作成・制御指令を出すシステムです。

ENEX2018 第42回地球環境とエネルギーの調和展

- 日 時：2月14日（水曜日）～ 2月16日（金曜日）
- 会 場：東京ビッグサイト東1・2ホール 2F-23ブース（東京都江東区有明3-11-1）
- URL：<http://www.low-cf.jp/east/> 

スマートエネルギーWeek2018 第8回スマートグリッドEXPO

- 日 時：2月28日（水曜日）～ 3月2日（金曜日）
- 会 場：東京ビッグサイト B208ブース（東京都江東区有明3-11-1）
- URL：<https://www.smartgridexpo.jp/ja-jp.html> 


商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ

お電話でのお問い合わせ

官公庁ソリューション本部 第二アプリケーション開発部

 092-852-3065

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)



[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#) > 2018年 > [宿泊施設管理システム「GLOVIA smartホテル V4」に機能追加](#)

PRESS RELEASE

2018年2月6日

株式会社富士通九州システムズ

宿泊施設管理システム「GLOVIA smartホテル V4」に機能追加 ～業務効率化と利益最大化への貢献～

当社は、2016年より販売しております「GLOVIA smart ホテル V4」に、お客様の業務効率化と利益最大化への貢献を目的とした機能を追加しました。

宿泊予約サービス一元管理オンラインシステムからの予約取込率アップ、スマートデバイスを活用した清掃タブレット、書類電子化など、お客様の業務改善をサポートします。またフォーキャスト（予測値）算出によるレベニュー機能の拡充によって、収益拡大に貢献します。

今後も時代の流れやお客様のご要望に応じたレベルアップを継続して提供することで、2020年度末までにシェア15%獲得を目指します。



「GLOVIA smartホテル」は、宿泊予約、フロントレセプション、フロント会計の機能をはじめ、顧客管理機能、売掛管理機能までが備わったシステムです。

今回の機能追加では、800施設以上の稼働実績のある「GLOVIA smartホテルV3」をベースに更なる業務効率化を実現しました。本システムの導入で、ホテルスタッフは接客に集中し、宿泊者に対してより良いサービスを提供でき、業務自体のシンプル化によってお客様と従業員の満足度向上を図ります。

製品名

GLOVIA smartホテルV4

本製品はクラウド型（SaaS）、パッケージ型（買取）での販売をおこなっています。

販売開始

2018年3月1日

本製品の特長

1. シンプルで直感的な操作性の実現 >> 従業員の多様化に対応
外国人や高齢者スタッフなど従業員の多様化に対し、シンプルな画面構成で直感的な操作性を実現します。

2. 分析機能の拡張 >> 戦略的な販売で利益最大化

日々の推移と前年実績から算出したフォーキャスト（予測値）を用いたブッキングカーブで、販売を制御し、収益拡大を支援します。

3. 業務効率化の実現 >> 業務の煩雑化を解消

宿泊予約サービス一元管理オンラインシステムからの予約取込率をアップし、予約業務を効率化します。また、スマートデバイスを活用した清掃管理や、レジカード／パスポートデータ電子化で業務効率化も実現します。

4. 成長するシステムの実現 >> 急速なシステム進化への対応

ホテル宿泊部門スタッフと共に成長するホテルシステムです。時代や市場環境と共に変化するホテル業界の課題やニーズに応える最新機能を、レベルアップサービスとして継続して提供します。

動作環境

- サーバ

Microsoft® Windows® Server 2016

- サーバ

Microsoft® Windows® 10

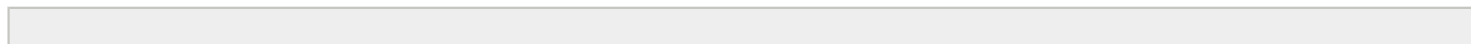
関連リンク

> [ホテルソリューション紹介サイト](#)

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ



お電話によるお問い合わせ

産業流通ソリューション本部 ホテルソリューション部



092-707-5644

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

メールでのお問い合わせ

当社へのお問い合わせ



入力フォーム

当社はセキュリティ保護の観点からSSL技術を使用しております

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

コンテンツ利用条件

個人情報保護ポリシーについて

商標について

お問い合わせ

富士通ホームへ



[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#) > 2018年 > デジタルビジネスを加速するフレームワークを販売開始

PRESS RELEASE

2018年1月31日

株式会社富士通九州システムズ

デジタルビジネスを加速するフレームワークを販売開始

～Webサービス・マッシュアップ基盤を提供～

当社は、長年フレームワーク開発で培ってきた技術をもとに、2018年1月よりデジタルビジネスを加速するWebサービス・マッシュアップ基盤「FUJITSU Software Service Bridge Framework」（以下、SBF）の販売を開始しました。

IoTやAI、ロボティクスなどのICT技術の発展により、あらゆる産業のデジタル化が急速に進展し、企業の競争優位性の確保が至上命題となっています。

本製品は、当社のIoTシステム「Internet of toilet®」をはじめ、各分野で導入されており、アプリケーション開発のプロセスの改善や、生産性、保守性の向上に寄与します。

製品名

- FUJITSU Software Service Bridge Framework

特徴

1. Webサービス公開に必要な主要機能を提供

- 通信層のプロトコルであるHTTP/RESTを提供します。
- 装置認証、サービス認証、ユーザ認証などの認証機能に加え、特許技術^(注1)を用い、クライアント、サーバ相互の「なりすまし」防止機能を提供します。
- 公開鍵暗号方式を使用した、メッセージの独自暗号化機能を提供します。HTTPS/TLSなどの暗号化ができない環境でもセキュリティを確保できます。

2. 機能を簡単に追加（プラグイン）

サービス管理者は、専用の管理画面からサービスアドイン（DLL/Jarファイル）を登録するだけでサービスの拡張が可能です。

3. 既存システムをつなぎ、新たなサービスを提供

既存の基幹システムと連携するサービスアドインをSBFに配置し、つなげることでSoE^(注2)サービスを拡張できます。また、サードベンダのAPIと連携するサービスアドインをSBFに配置することで、自社SaaSサービスとして提供できます。

4. 既存資産の有効活用

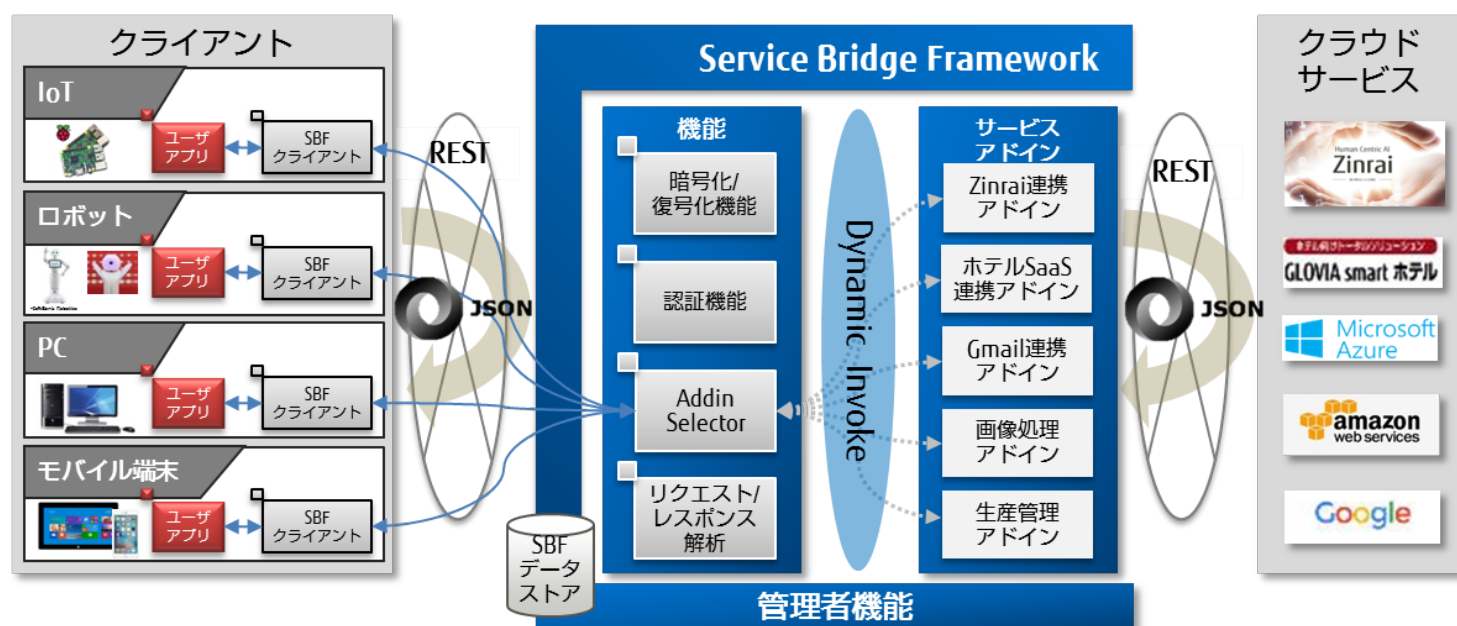
マルチOS、マルチ言語に対応し、既存のコンポーネントを有効活用することができます。さらにクライアント開発者向けに開発言語ごとにSDKを提供し、開発者を強力にサポートします。

注1 特許技術：

富士通株式会社.認証方法、認証プログラム、および認証装置.特開2016-184266.2016.10.20

注2 SoE：

System of Engagement（顧客とのつながりを構築するためのシステム）



価格



- メディアパック（製品本体）
10,000 円
- 基本ライセンス
40,300 円/月
- サーバ追加ライセンス（1 台分）
33,300 円/月

IoT開発を、次のステージへ mockmock

mockmockは、株式会社FusicのIoTシステムのテスト用仮想デバイス(mock)を提供するWebサービスです。mockmockを利用することで、任意のテストデータを「いつでも」、「すぐに」、「大量に」、「安価に」生成することが可能となり、テスト工数を大幅圧縮することができます。当社は株式会社Fusicと協業しています。SBFでサーバアプリ開発プロセスを、mockmockでテスト工程を改善し、次のステージのIoT開発をぜひご体験ください。



関連リンク

- > FUJITSU Software Service Bridge Framework
- > Fusic 
- > Mockmock 


商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ

お電話でのお問い合わせ

未来社会ソリューション本部 デジタルサービス開発部

 092-260-6211

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

メールでのお問い合わせ

当社へのお問い合わせ

 入力フォーム

当社はセキュリティ保護の観点からSSL技術を使用しております

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU



ホーム > お知らせ > プレスリリース > 2018年 > 子会社の吸収合併について

PRESS RELEASE

2018年1月25日

株式会社富士通九州システムズ

子会社の吸収合併について

当社は、本日開催の取締役会において、2018年4月1日を効力発生日として、当社100%出資の子会社である株式会社富士通九州システムサービスを吸収合併することを決定しましたのでお知らせいたします。

方針

このたび、デジタル／グローバルビジネスの拡大に向けた新しいサービスデリバリ体制の構築のために、子会社を吸収合併することにより経営の効率化を図るとともに、各社が培ってきたノウハウを活かしてサービスの拡充を図ってまいります。

吸収合併の対象となる会社の概要

社名

株式会社富士通九州システムサービス

代表者

代表取締役社長 松井 和男
本店所在地
福岡市博多区
資本金
1 億円（当社100%出資）
従業員数
1,366名


商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ

お電話でのお問い合わせ

総務人事本部 総務部

 092-260-6200

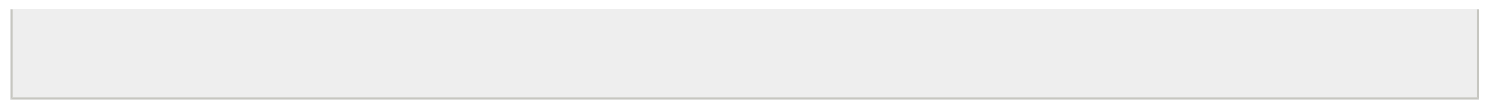
受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

メールでのお問い合わせ

当社へのお問い合わせ

 入力フォーム

当社はセキュリティ保護の観点からSSL技術を使用しております



[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU



ホーム > お知らせ > プレスリリース > 2018年 >

富士通グループヘルスケア分野で初めてPepperと電子カルテの連動に成功！

PRESS RELEASE

2018年1月19日

株式会社富士通九州システムズ

富士通グループヘルスケア分野で初めてPepperと 電子カルテの連動に成功！

～医療機関におけるPepperの活用シーンの拡大を実現～

戸畑総合病院（福岡県北九州市戸畑区、理事長：後藤俊秀、院長：齋藤和義）様は、2016年7月の新築移転オープンを機に、富士通九州システムサービス（以下、当社）が手がけたPepperと電子カルテを連動させたサービスを開始しました。

Pepperに院内フロアの行き先案内や、電子カルテから送られた情報をもとにその日の診察内容を案内する機能を搭載し、患者様サービスの向上に貢献しています。

Pepperは子どもやお年寄りを中心に人気を集めており、「Pepperがいる病院」としての認知度が向上。Pepperとコミュニケーションを取っている間は待ち時間と捉えないことから、待ち時間の軽減にも役立っていると、喜びの声を寄せていただいています。

当社は、戸畑総合病院様のサービス向上を支えるパートナーとして、今後も積極的により良い提案と支援をおこなうと同時に、医療機関におけるPepperの活躍の場を拡大できるよう、さらなる技術力の向上に取り組めます。

背景

戸畑総合病院様は、新築移転オープン前の牧山中央病院時代に2台のPepperを導入していましたが、明確な使用用途がなく、活用方法を求めています。

電子カルテと連動できれば、患者様のさまざまな情報をPepperに送ることができるのでは？と考えた同病院の担当者様から同病院のシステムを担当する株式会社メディック様を通じて当社に相談があり、プロジェクトがスタート。

患者様がより心地よく、楽しく過ごせる空間づくりを実現するため、Pepperと電子カルテを連動させた新サービスを導入しました。

導入効果と今後の展開

2016年7月に戸畑総合病院が新築移転オープンし、当初は、院内フロアの行き先案内機能を搭載。それから約3カ月経った頃、Pepperと電子カルテの連動がスタートし、PepperにQRコードをかざすと、その日の診察内容などを案内してくれるという機能が加わりました。今回のプロジェクトによって得られた効果は、

- 新病院開院以降、「Pepperがいる病院」として認知度UP
- Pepperとコミュニケーションを図っている間は“待っている”と感じさせず、患者様の待ち時間が軽減

同病院には全館に無線LANが導入されており、今後、機会があれば、そのネットワークを活かした取り組みなどにもチャレンジしたいと考えています。

関連リンク

➤ [戸畑総合病院様 導入事例](#)

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ

お電話でのお問い合わせ

第二ヘルスケアソリューション事業本部 第一ソリューション事業部 第三ソリューション開発部



092-707-5648

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)



[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#) > 2018年 > 大谷機械製作所様に鍛造業界に先がけた解析モデルを支援

PRESS RELEASE

2018年1月16日

株式会社富士通九州システムズ

大谷機械製作所様に鍛造業界に先がけた解析モデルを支援

～熟練の職人工の経験や勘どころを未来へ継承～

このたび、株式会社大谷機械製作所様（本社：大阪市淀川区、代表取締役社長 板見 吉博氏、以下・大谷機械）は、鍛造（たんぞう）機械の国内トップメーカーとして、ものづくりの刷新・強化のために、当社が提供するCAEソリューション・非線形構造解析ソフトウェア「LS-DYNA」を導入しました。

世界的に実績と信頼がある「LS-DYNA」の導入により、鍛造機械の強度解析を内製化し、解析データのシミュレーションによるものづくりを実現しました。また、当社が提供する有償支援サービスを活用し、新製品の設計開発や修理・補強の工程プロセスに「お客様の高い納得性」と、独自の「使いこなすノウハウ」を確立しました。熟練の職人工が培ってきた技術の経験や勘どころを、解析データで検証し「見える化」することで、自社の技術資産として蓄積し、未来へ継承することも可能になりました。

当社は、今後も大谷機械様の価値あるものづくりを支えるパートナーとして、よりよい提案と支援を継続すると同時に、皆様のお役に立てるようさらなる技術力の向上に取り組んでまいります。

導入効果と今後の展開

大谷機械様は、創業から70年余の歴史ある鍛造機械の専門メーカーです。また、国内シェア9割以上を誇るトップメーカーとして、「壊れない鍛造マシン」との高い信頼を確立してきました。

金属組織を切らずに叩いて延ばす「鍛造」は、自動車から建築、機械・工具まで、世界のものづくりシーンになくてはならない技術です。大谷機械様は従来、鍛造機械のアンビル（固定台）やフレーム（支柱）の強度解析を協業メーカーに外部委託してきましたが、専門メーカーとして満足する解析データを得られていませんでした。より高強度な製品開発や的確な補修を可能にし、さらに機械ユーザーに対しても説得力ある提案ができるように今回、定量的でわかりやすい強度解析の内製化を推進しました。

鍛造業界全体に解析データの活用例がなく参考にするべきモデルがないことや、専任の解析担当者がいないことを踏まえ、「LS-DYNA」を導入して解析手法を確立するだけでなく、その手順を自社ノウハウ化することも目指しました。解析手法から手順書の作成、報告書のレビューまで、鍛造解析の一つのロールモデルを構築。また、報告書は専門用語を使わず、応力部のデータもサーモグラフ的にカラー表示にするなど、理解しやすい工夫ある見せ方を実現。大谷機械様だけでなく、鍛造業界が「これまでにないものづくり」を推進していく第一歩を踏み出しています。

CAEソリューション・非線形構造解析ソフトウェア「LS-DYNA」について

陽解法により構造物の変形や弾塑性などを時刻履歴で非線形動的に構造解析します。

動的非線形・熱解析・接触などの解析機能は、自動車の衝突テストをはじめ、世界中のものづくり検証シーンで高い導入実績と信頼があります。

また、並列計算機能による計算速度の短時間化や高い操作性、130種類を超える幅広い材料モデルなども、高い評価を得ています。

- 主な機能

動的非線形、熱解析、流体・熱・音響などの構造連成問題、接触、貫通・亀裂・破壊、流体解析、準静的現象 など

関連リンク

➤ [大谷機械製作所様 導入事例](#)


商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ

お電話によるお問い合わせ

エンジニアリングソリューション本部 エンジニアリング営業部

 06-6920-5900

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU



ホーム > お知らせ > プレスリリース > 2018年 > 安全性データシート作成支援サービス「ezSDS」に新機能

PRESS RELEASE

2018年1月09日

株式会社富士通九州システムズ

安全性データシート作成支援サービス「ezSDS」 に新機能 ～外国語変換およびGHS分類ツールに対応～

当社は、日本ケミカルデータベース株式会社（JCDB社）と共同開発したクラウド型の安全データシート作成支援サービス「ezSDS」に外国語変換機能およびGHS分類ツールを標準機能へ追加し、2018年1月末より提供を開始します。

現在、日本では、化学品関連法規に一定条件で抵触する化学製品について、事業者間で譲渡・提供する際、SDS（注1）の提供が求められています。本サービスは、低コストで手軽にSDS作成ができるため、効率的かつ安価にSDSを作成したいという企業様を中心に、数多く採用いただいております。

今回の外国語変換機能追加により、国内向けSDSの英語版が作成可能になり、海外にある現地法人への情報提供や輸出入時における緊急時取扱方法の提示がスムーズになります。また、経済産業省が公開しているGHS混合物分類判定システム（GHS分類ツール）にも対応いたします。

製品名

- ezSDS（イージーエスディーエス）

新機能

1. 外国語変換

日本国内の法規制に対応したSDSを日本語で出力する仕様に対し、英語訳が出力できる機能を追加いたしました。

- 本機能により日本で作成した英語訳のSDSを海外の現地法人で活用することで、海外の法規制に対応したSDSへの作り直しを支援します。
- 化学物質製品輸出入時の参考情報として、英語訳したSDSを活用できます。

2. GHS分類ツールの対応

事業者による混合物のGHS分類の実施を支援することを目的に、経済産業省はGHS混合物分類判定システム（GHS分類ツール）を公開しております。以下のGHS分類ツール独自機能に対応いたしました。

- 注意書き絞り込み機能の追加
- GHS分類項目の統合・追加
- 分類根拠の出典設定追加

本製品の特長

1. クラウド型による低価格を実現

クラウド型でSDS作成機能を提供しており、投資費用を最小限に抑えることができます。また、運用費用削減へ貢献できます。

2. 最新の「化学物質データベース」の情報を搭載

本サービスは最新のJISに対応しております。さらに、豊富な化学品情報を独自で持つJCDB社と協業し、最新の「化学物質データベース」を提供するために定期メンテナンスを実施しております。

3. 専用サポート体制による安心な運用支援

ご契約者様専用のezSDSサポート窓口を用意しております。製品操作からSDS作成に関するお問い合わせ全般について、JCDB社と連携したサポート体制で運用を支援いたします。

動作環境

- ブラウザ：Internet Explorer バージョン11以降推奨
- アプリケーション：Microsoft Excel（Office 2010以降推奨）

提供時期

- 2018年1月末より新機能の提供開始

販売価格

- 月額 60,000円～（税抜）
従量制および定額制を採用しており、利用方法により柔軟な対応が可能です。

用語説明

注1 SDS：

Safety Data Sheetの略称。安全データシート。化学品の有害性等に関する情報シートで化学品の取引時に提供し、使用者の安全な取扱いに活用します。

関連リンク

> 「ezSDS」紹介サイト


商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ

お電話でのお問い合わせ

官公庁ソリューション本部
テクニカルサポートセンター

 096-287-2157

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

メールでのお問い合わせ

ezSDSに関するお問い合わせ

 入力フォーム

当社はセキュリティ保護の観点からSSL技術を使用しております

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU